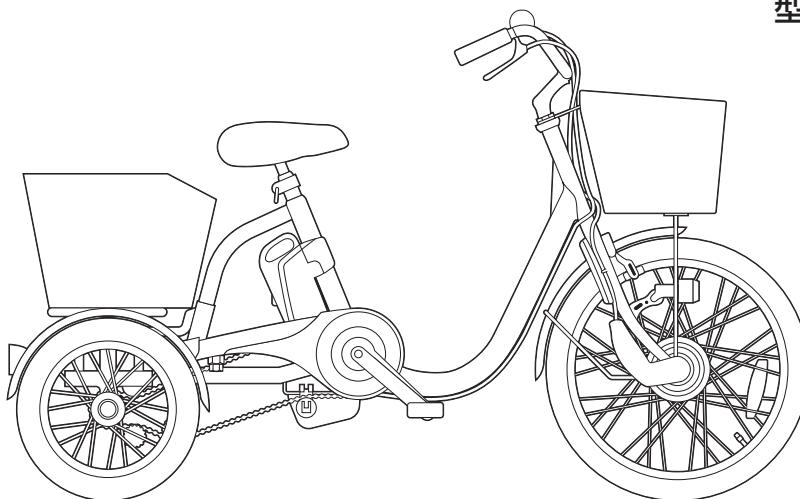


# フランスベッド

リハテック  
**Reha tech**  
電動アシスト三輪自転車

## ランドパル

型式名: ASU-3WSR  
取扱説明書



このたびはフランスベッドの製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

### 製品を安全にご使用いただくために

- 本製品は電動アシスト(補助)システムを装備した三輪自転車です。
  - 本製品は、日常生活用として設計されています。新聞配達などの業務用としてご使用にならないでください。
  - 本製品は、使用者の最大体重を [65 kg] と想定しています。使用者の体重が著しく超過して常用した場合、各パーツの消耗度合、劣化度合が想定より大きくなりますので、ご了承のうえ、使用してください。
  - 納車時に販売店から、使用方法について充分に説明をお受けください。
  - 安全のため、ヘルメットの着用をおすすめします。
  - 本書と保証書／点検・整備の記録は、紛失しないよう大切に保管し、必要に応じてご参照ください。
  - 保証書は「販売店名、お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。  
記入が漏れている場合は、販売店にご請求ください。
  - 本製品を他の人にお譲りになる場合は、本書および購入時に添付されていた書類一式を必ず本製品と一緒に渡してください。
- この取扱説明書に関するご質問やご不明な事項がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。  
不明なまま使用しないでください。ご使用されますと怪我や事故につながるおそれがあります。

### ⚠ 使用前に必ず点検を行ってください

- いつも安心して安全にご使用していただくためには、日常の点検・整備が必要です。忘れずに行ってください。
- 製品に異常がある場合は、使用を中止して販売店または弊社お客様相談室へご連絡ください。

製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。  
また、この取扱説明書の内容については、予告なしに変更することがあります。

900570-8900

# 目次

---

<b>1 安全のために必ずお守りください</b>	3
<b>2 各部の名称と機能</b>	8
<b>3 バッテリーについて</b>	10
バッテリーを取り外す	12
充電する	13
バッテリー残量ランプについて	14
バッテリーを取り付ける	15
<b>4 電動アシスト自転車のしくみと三輪自転車の特性</b>	16
<b>5 お乗りになる前に</b>	18
準備・調整する	18
乗車前点検	20
ブレーキの点検・調整	22
バッテリー残量の確認	23
<b>6 乗りましょう</b>	24
ブレーキのかけかた	25
走行モードの切り替えかた	25
走行できる距離について	26
メーター表示の切り替え	27
オートライトシステム	28
USB型給電ポートについて	29
荷物の積載について	30
<b>7 駐輪のしかた</b>	31
<b>8 お手入れのしかた</b>	32
<b>9 点検・整備・調整について</b>	34
初回点検・定期点検について	34
<b>10 こんなときには</b>	36
故障かなと思ったら	36
メインスイッチの異常表示	38
バッテリー残量ランプの異常点滅	40
保管するときは	41
廃棄するときは	41
スペアキーについて	42
<b>11 仕様</b>	43
<b>12 自転車の交通ルール・防犯・盗難について</b>	44
自転車保険の義務化について	46
防犯登録について	46
盗難補償について	46
<b>13 点検・整備の記録</b>	47

# 1

# 安全のために必ずお守りください

## ■ 絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、お使いいただく方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分しています。

<b>⚠ 警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるものです。
<b>⚠ 注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家財などの損害に結びつく可能性があるものです。
	この記号は、禁止の行為を告げるものです。(～しないでください。)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。(～してください。)
絵表示	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

## ■ 電動アシスト三輪自転車全般のご注意

### ⚠ 警告

#### !**自転車の交通ルールを守りましょう**

快適に、そして安全に乗るために交通ルールを守って安全運転を心がけましょう。  
交通ルールを守らないと、衝突や転倒などによるケガのおそれがあります。  
法令を遵守した走行をしましょう。  
飲酒運転、二人乗り、並進、片手運転、無灯火運転、車道(路側帯)の右側通行などは法律により禁止されています。違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

#### !**体調が優れないときは乗らないでください。**

体調が優れない時は運動機能が低下し、衝突などによるケガのおそれがあります。

#### !**改造や分解はしないでください。**

部品が破損したり、外れたりして転倒によるケガのおそれがあります。

#### !**異常を感じた場合は乗車を控えてください。**

予期せぬ事故の原因となります。

#### !**二人乗りはしないでください。**

自転車の二人乗りは法令で禁止されています。  
操作が不安定になり転倒や落車によるケガの原因になります。

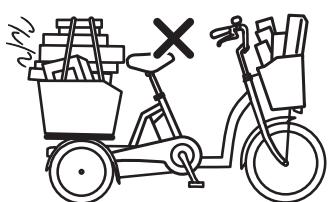
#### !**踏み台の代わりなど、走行以外に使用しないでください。**

転倒によるケガのおそれがあります。



#### !**積載条件から外れる荷物を積まないでください。**

バランスを崩し、転倒によるケガのおそれがあります。



# 1 安全のために必ずお守りください（つづき）

## ■ 電動アシスト三輪自転車全般のご注意(つづき)

### ⚠ 警告

#### ！足が後ろドロヨケに当たらないよう注意してください。

三輪自転車は普通自転車に比べ車幅が広くなっています。自転車を押して歩くとき、またはペダルに片足を乗せてけり乗りをすると、かかとが後ろドロヨケにあたり、ケガのおそれがあります。



#### 🚫 幼児を乗せないでください。

本製品にはチャイルドシートを取り付けることはできません。バスケットにも幼児を乗せないでください。走行中幼児の手足が車輪に挟まれたり、カーブで放り出されて転倒や事故の原因となるおそれがあります。



#### 🚫 子供が遊びに使えるような場所に保管、放置しないでください。

ケガや故障の原因になります。

#### ！夜間走行前にはバッテリーの残量を確認してください。

前照灯(ライト)はバッテリーの電源で点灯しますので、バッテリー残量がなくなると消灯します。夜間走行中に前照灯が消灯した場合は、自転車から降りて押して歩いてください。無灯火による運転は法律で禁止されています。

#### 🚫 バッテリーに手をかけて電動アシスト三輪自転車を持ち上げないでください。

バッテリーが外れて、ケガをするおそれがあります。

#### ！純正部品を使用してください。

純正部品以外の取り付けは、事故や故障の原因になることがあります。

※純正部品以外を使用すると保証の適応が受けられません。

#### 🚫 走行直後は電動アシストユニットに手を触れないでください。

電動アシストユニットが高温になっていることがあります、やけどのおそれがあります。

### ⚠ 注意

#### ！乗車前は必ず点検を実施してください。

取扱説明書をよくお読みいただき、必ず点検を実施してください。（→20～22ページ）

また、ご不明な点がございましたら販売店か弊社お客様相談室にご相談ください。

## ■ 走行時のご注意

### ⚠ 警告

!  
運転に慣れるまでは、車が通らない平坦な場所(自転車を乗り入れても良い公園や広場など)で充分に練習してください。

転倒や衝突事故によるケガのおそれがあります。

運転に慣れるまで、走行モードを「平坦」にして走行してください。

練習する際は、周囲の安全確保をしてから練習してください。



🚫 発進時はペダルを強く踏みすぎないでください。  
思わず急発進により転倒や衝突事故によるケガのおそれがあります。  
停車時は前と後ろ両方のブレーキをかけ、ペダルに足を乗せないでください。  
※一般の自転車のように強く踏み込まなくても、電動アシストシステムにより楽に発進することができます。

🚫 けんけん乗り\*はしないでください。  
転倒や接触事故によるケガのおそれがあります。  
必ずサドルにまたがってから発進してください。  
意図せずペダルに力が加わると、電動アシストシステムが動き、転倒や接触事故のおそれがあります。  
※けんけん乗りとは、片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗りかたです。

🚫 凹凸の激しいところ(歩道の段差や溝など)を走らないでください。  
フレームや車輪、または電動アシストユニットなどが損傷し、転倒によるケガのおそれがあります。  
無理をせず、自転車から降りて押して歩いてください。

🚫 飲酒運転はしないでください。  
道路交通法で禁止されています。

🚫 携帯電話をかけたり、メール操作などをしながら運転しないでください。  
道路交通法で禁止されています。  
片手運転と前方不注意により、衝突・転倒の危険性があります。

🚫 イヤホン・ヘッドホンを使用しながら運転しないでください。  
道路交通法で禁止されています。  
周囲の音が聞こえず、事故を起こすおそれがあります。

🚫 車道の右側を通行しないでください。  
道路交通法で禁止されています。  
車道を通るときは、左側に沿って通行してください。

🚫 2人以上で通行するときは横に並んで通行しないでください。  
自転車の併走は道路交通法で禁止されています。  
他の交通の妨げになり、接触して事故を起こす危険性があります。1列で通行してください。

🚫 手やハンドルに荷物や傘をかけたり、ペットのリードを車輪の近くにつり下げたりして走らないでください。  
荷物や傘、ペットのリードが他の人や物にぶつかったり、車輪に巻き込まれバランスを崩したりして、事故や転倒によるケガのおそれがあります。

🚫 傘をさしながらの片手運転や手放し運転はしないでください。  
バランスがとれずに転倒しケガや事故の原因となるおそれがあります。必ず両手でハンドルを握ってください。



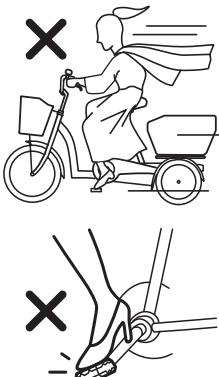
# 1 安全のために必ずお守りください（つづき）

## ■ 走行時のご注意(つづき)

### ⚠ 警告

#### !**安全な服装で乗車してください。**

長いマフラー、すその広いズボン、長いスカート、滑りやすい靴やかかとの高い靴などは避けてください。  
車輪やチェーンへの巻き込みなどにより、転倒によるケガのおそれがあります。  
足がペダルから外れ、転倒によるケガのおそれがあります。



#### 🚫 **スポークの間にボールなどの物を挟んで走らないでください。**

車輪とフレームや前ホークに巻き込まれるなどして転倒によるケガのおそれがあります。



#### 🚫 **夜間や暗いところを無灯火で乗車しないでください。**

無灯火での走行は法令により禁止されています。  
事故やケガのおそれがあります。



#### 🚫 **乱暴な乗りかたはしないでください。**

ジグザグ走行、アクロバット的な乗りかたや急発進・急旋回をすると、転倒や落車などによるケガのおそれがあります。



#### !**カーブは大きめに回ってください。**

後輪をぶつけ、転倒によるケガや事故の原因となります。

#### 🚫 **カーブで曲がる側のペダルを下げないでください。**

ペダルが地面と接触し、転倒によるケガのおそれがあります。



#### !**雨天時の坂道では前後ブレーキを併用し、速度を落としながら走行してください。**

タイヤがスリップしたりブレーキの効きが悪くなり転倒や衝突事故の危険性が高まります。  
雨、風、雪など天候がひどい時は無理をせず、電動アシスト三輪自転車から降りて押して歩いてください。

#### 🚫 **片側だけのブレーキ操作はしないでください。**

スリップして、転倒によるケガのおそれがあります。  
※ブレーキは必ず前後共にかけてください。

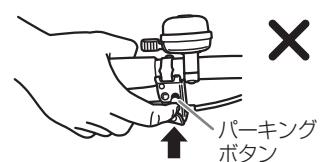


#### 🚫 **走行中、車輪・チェーンなどの回転部に手や足、物などを近づけないでください。**

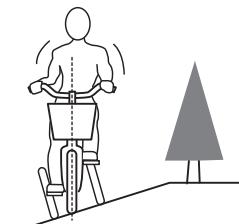
車輪やチェーンに巻き込まれたり、ケガのおそれがあります。

#### 🚫 **走行中にパーキングボタンを押さないでください。**

前輪がロックし転倒による事故、ケガの原因となります。

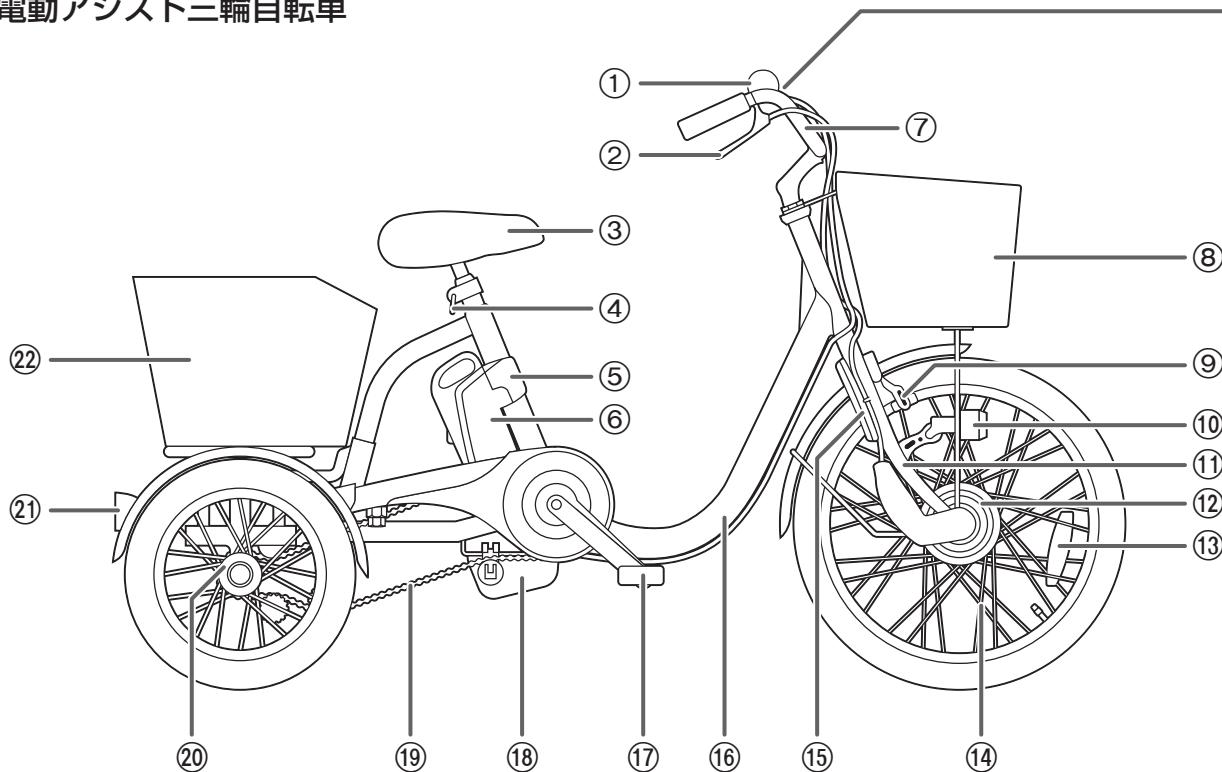


## ⚠ 警告

- 🚫 走行中にサークルロックの施錠ツマミを操作しないでください。**  
前輪が急にロックして転倒する危険性があります。
- ❗ 片側に傾斜している道路や凹凸が大きい道路ではハンドルをとられないように注意してください。**  
安定した操作ができずに転倒するおそれがあります。
- 
- ❗ 電動アシスト三輪自転車が完全に止まってから降りてください。**  
完全に止まる前に飛び降りるようにして降りると、バランスを崩して転倒や、ケガのおそれがあります。
- 🚫 雨、風、雪など天候がひどい時は無理をせず、乗らないでください。**  
走行中にバランスを崩したり、スリップすることで転倒によるケガ、事故の原因となるおそれがあります。
- ❗ 急な上り坂では電動アシスト三輪自転車に乗らないでください。**  
ハンドルがとられやすくなり、転倒や事故によるケガの原因となります。  
無理をせず、電動アシスト三輪自転車から降りて押して歩いてください。
- ❗ 下り坂やカーブではブレーキを早めにかけ、十分にスピードを落としてください。**  
転倒や落車による事故、ケガの原因となります。  
ブレーキは必ず前後同時にかけてください。
- ❗ 歩道などの狭い場所への乗り入れは注意してください。**  
脱輪や後輪をぶつけて、転倒するおそれがあります。

## 2 各部の名称と機能

### ■ 電動アシスト三輪自転車



① ベル(ハンドル右側)

② ブレーキレバー

右側: 前ブレーキ 左側: 後ブレーキ

③ サドル

高さや角度を調整できます。(→ 18ページ)

④ シートピン

サドルの高さを調整するときに緩めます。  
(→ 18ページ)

⑤ バッテリーholder

バッテリーを取り付ける場所です。  
(→ 12、15ページ)

⑥ バッテリー(→ 10ページ)

⑦ ハンドル

⑧ 前バスケット

最大積載量: 3 kg (→ 30ページ)

⑨ 前ブレーキ

⑩ 前照灯(ライト)

本製品はオートライトシステムです。

● 手動で点灯/消灯する場合はライトボタンを押します。(→ 28ページ)

⑪ 前ホーク

⑫ モーター

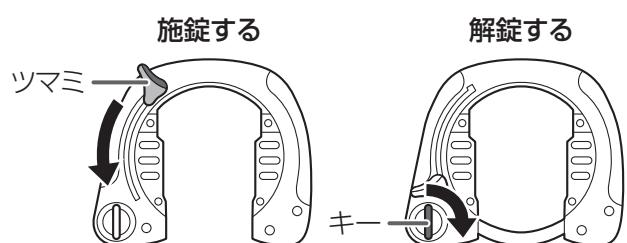
⑬ ホイールリフレクター

⑭ スポーク

⑮ サークルロック

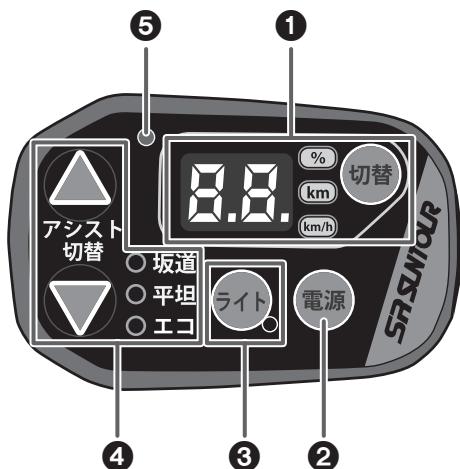
施錠: ツマミの赤い箇所を押しながら、矢印の方向に回し、キーを抜き取ります。

解錠: キーを時計回りに回します。



● キーは、バッテリーの脱着にも使用します。

## ■ メインスイッチ(ハンドル左側)



### ⑤ 照度センサー

周囲の明るさを感じて、前照灯(ライト)を点灯/消灯します。

### ① メーター／表示切替ボタン

バッテリー残量、アシスト走行可能距離、走行スピードを表示します。

切替を押すごとに、それぞれの表示が切り替わります。

### ② 電源ボタン

本製品の電源を入/切します。(→24ページ)

### ③ ライトボタン／ライト点灯ランプ

前照灯(ライト)を手動で点灯/消灯するときに押します。前照灯(ライト)が点灯しているときは、ライト点灯ランプが点灯してお知らせします。

### ④ 走行モード切替ボタン／走行モードランプ

△ ▽を押して、走行モードを切り替えます。



## ⑯ フレーム

## ⑰ ペダル

## ⑱ コントローラー

## ⑲ チェーン

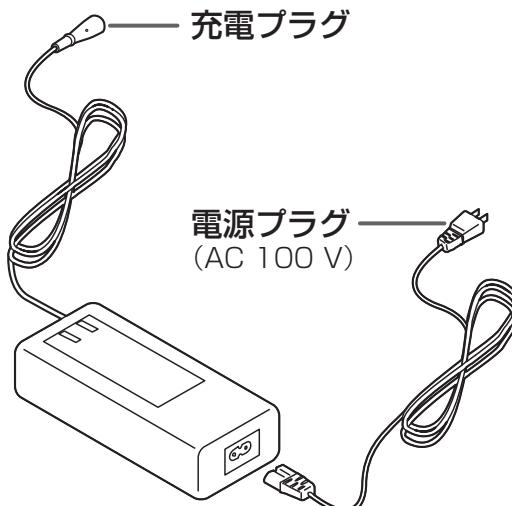
## ⑳ 後ブレーキ(車体右側)

## ㉑ リアリフレクター

## ㉒ 後ろバスケット

最大積載量：17 kg (→30ページ)

## ■ 充電器



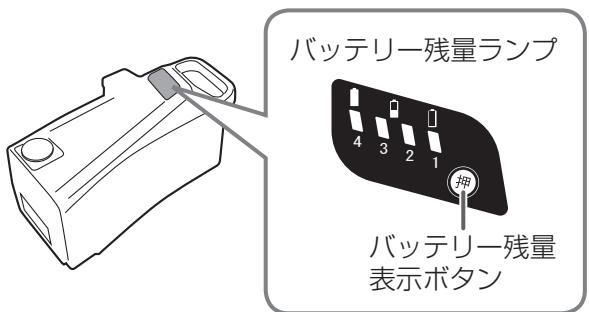
# 3 バッテリーについて

本製品はリチウムイオンバッテリーを使用しています。

バッテリーには「バッテリー残量ランプ」が付いており、バッテリー残量表示ボタンを押すと、バッテリー残量を確認できます。

また、バッテリーの容量(劣化状態)や異常などを知ることもできます。

- バッテリー残量の確認→23ページ
- バッテリー容量(劣化状態)の確認→14ページ
- 充放電回数の確認→14ページ
- バッテリー異常の確認→40ページ



## ■ バッテリーの特性

リチウムイオンバッテリーは軽量で電池容量に優れたバッテリーですが、以下の特性があります。

- 過度に暑い環境／寒い環境で性能が低下する。
- 使用していくなくてもわずかずつ放電する。
- バッテリー残量にかかわらず充電できる。
- 満充電のバッテリーを繰り返し充電すると劣化が早くなる。

### お知らせ

- お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていない場合があります。一度充電してから乗車してください。
- バッテリーを長持ちさせるため、バッテリーを自転車から取り外して充電することをおすすめします。
- 自転車本体からバッテリーを取り外さなくても充電できます。自転車本体からバッテリーを取り外さないで充電した後に自転車を使用する際は、充電器プラグの抜き忘れに注意してください。
- バッテリーの温度が上がると、アシスト力が低下することがあります。システム保護制御が作動したためであり故障ではありません。バッテリーの温度が下がると回復します。
- 冬季など外気温が低いと、走行距離が短くなったりアシスト力が低下したりすることがあります。リチウムイオンバッテリーの特性であり故障ではありません。バッテリーの温度が上がると回復します。  
また、バッテリーを温度15~25℃の室内で保管してからご使用いただくと、症状を軽減することができます。
- 使用していくなくても、バッテリーはわずかずつ放電します。ご使用いただく前に充電することで回復します。
- 新品時はバッテリー残量が少なく、走行距離が短いときがありますが、数回ご使用いただき充電すると、本来の性能に戻る場合があります。
- バッテリーは長期間使用したり長期間保管したりすると、劣化して容量が低下します。  
充放電を繰り返す(約300サイクル)と容量が新品時の約半分にまで低下することがあります。  
バッテリー容量が低下すると、1充電あたりの走行距離が短くなります。
- 充電してもバッテリー容量が回復しない場合はバッテリーの交換時期です。  
早めに新品のバッテリーに交換してください。(交換は有料となります。)
- バッテリーは資源リサイクル可能です。資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)で、使用後の回収および再資源化が義務付けられています。  
使用済みのバッテリーは、環境、資源を守るために、破棄せずにリサイクル協力店、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談室へご連絡ください。

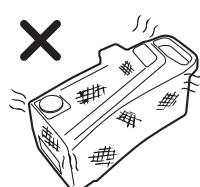


Li-ion

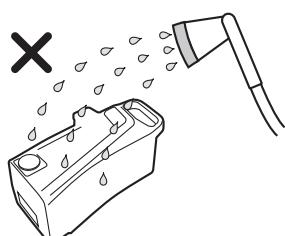
リサイクル協力店マーク

## 警告

バッテリーケースに破損や傷付  
きがあるとき、または異臭がす  
る時は使用しないでください。  
液漏れなどにより、やけどやケ  
ガなどのおそれがあります。  
異常を感じたときは、すぐに販  
売店または弊社お客様相談室にご相談ください。



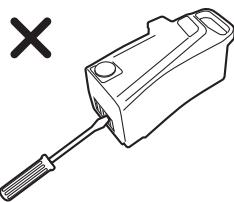
バッテリーに水をかけ  
たり、水の中に入れたり  
しないでください。  
発熱、発火、破損、故障  
の原因になります。



## ⚠ 警告

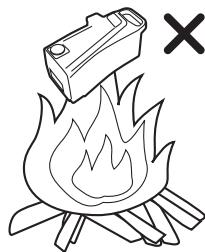
🚫 バッテリー底部の接点を短絡(ショート)させないでください。

発熱、発火、感電の原因になります。



🚫 バッテリーを火中に投下したり、加熱したりしないでください。

発熱、発火、感電の原因になります。



🚫 バッテリーを落としたり、衝撃を与えるたりしないでください。

発熱、発火、感電の原因になります。

🚫 バッテリーの分解や改造をしないでください。

発熱、発火、感電の原因になります。

🚫 バッテリーを他の電気機器に使用しないでください。

故障の原因になります。

❗ 充電時は専用充電器を使用してください。

発熱、発火、感電の原因になります。

🚫 専用充電器は他の電気機器に使用しないでください。

火災や破裂の原因になります。

🚫 充電器を水でぬらしたり、雨中で使用したりしないでください。

感電、火災、故障の原因になります。

🚫 充電器プラグを金属などで短絡(ショート)させないでください。

発熱、発火、感電の原因になります。

🚫 ぬれた手で電源プラグを取り扱ったり充電器プラグに触れたりしないでください。

感電するおそれがあります。

🚫 コードの上に物を乗せたり、挟んで固定したりしないでください。

火災や感電の原因になります。

🚫 コードを束ねた状態で使用したり充電器本体に巻き付けて保管したりしないでください。

コード損傷により火災や感電などの原因となるおそれがあります。

🚫 コードが損傷しているときは使用しないでください。  
火災、感電のおそれがあります。

🚫 充電端子にボタン電池や乾電池を接触させないでください。

破裂・発火のおそれがあります。

🚫 充電器を分解したり、改造したりしないでください。  
火災や感電の原因になります。

🚫 充電器を落としたり、衝撃を与えるたりしないでください。

発熱、発火、火災や感電の原因になります。

🚫 コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。

タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

🚫 充電中は長時間、皮膚を充電器の同じ場所に触れさせないでください。

充電中は40~60°Cになる場合があり、低温やけどのおそれがあります。

🚫 幼児やペットが触れるところに放置しないでください。

感電、火災、落下によるケガなど、予期せぬ事故や故障の原因になります。

🚫 充電中に周囲をカバーしたり、上に物を置いたりしないでください。

内部が発熱し、火災のおそれがあります。

🚫 ガソリンなどの引火物や引火性ガスの近くで充電しないでください。

予期せぬ火災や爆発などの原因となることがあります。

❗ 充電中に異音や異臭がしたり、煙が出るなど異常に気付いたら、直ちに充電器の電源プラグと充電プラグを抜いて充電を中止してください。

❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。  
感電や発熱による火災の原因になります。

❗ 電源プラグのほこり等は定期的に取ってください。  
湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

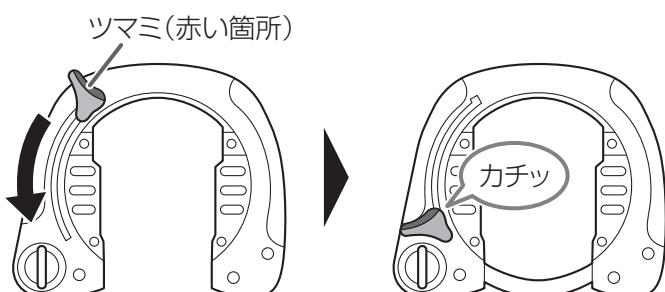
## ■ バッテリーを取り外す

### 1 電源ボタンを押して、電源を切ります。

電源を切った後、確実に電源が切れていることを確認してください。



### 2 サークルロックのツマミの赤い箇所を押しながら、「カチッ」と音がするまでツマミを回します。



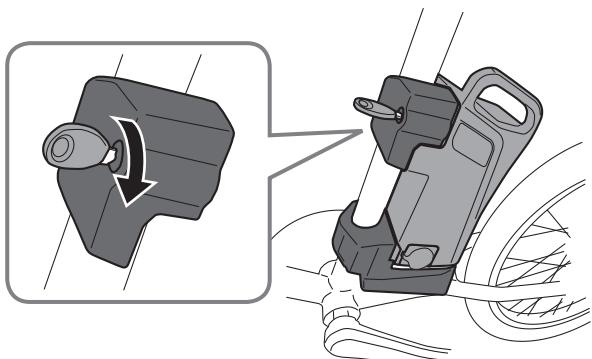
### 3 キーを抜き取ります。

サークルロックが施錠されます。

- キーを抜かない限りは施錠されません。

### 4 バッテリーホルダーの鍵穴にキーを差し込み、時計方向に回します。

バッテリーホルダーが開錠します。



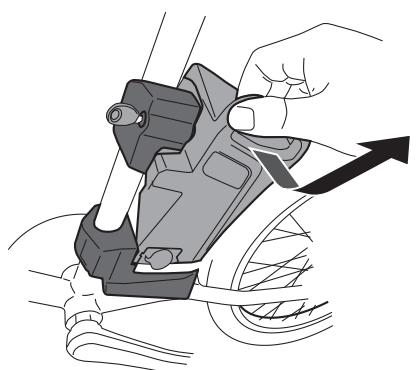
### 5 バッテリーハンドルを持って手前に倒し、上側に引き出します。

バッテリーが外れます。

バッテリーを外すと、キーは自動的に元の位置に戻ります。

- キーは忘れずに抜き取り、大切に保管してください。

紛失すると施錠したサークルロックを解除することができません。



## 充電する

1 充電器の電源プラグをコンセント(AC 100 V)に差し込みます。

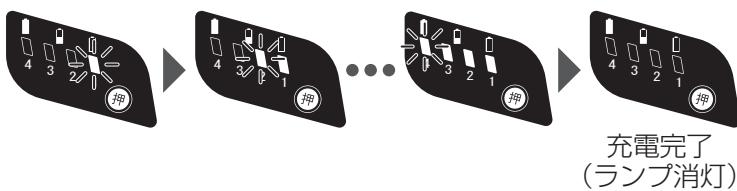
2 バッテリーの防水キャップを開けて、充電器プラグをバッテリー側のプラグに差し込みます。

充電器のランプが赤色に点灯し、充電が開始されます。

充電時間：約2時間30分

(残量ゼロから満充電まで充電した場合。)

- 充電器プラグの矢印とバッテリー側プラグの矢印を合わせて差し込んでください。位置がずれないと、破損や故障の原因となります。
- バッテリー残量ランプで充電状態を確認できます。充電が進むにつれて、バッテリー残量ランプが点灯していきます。



充電が完了すると、バッテリー残量ランプが消灯し、充電器のランプが緑色に点灯します。

3 充電が完了したら、コンセントから電源プラグを抜きます。

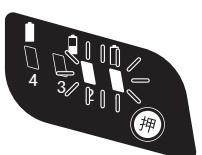
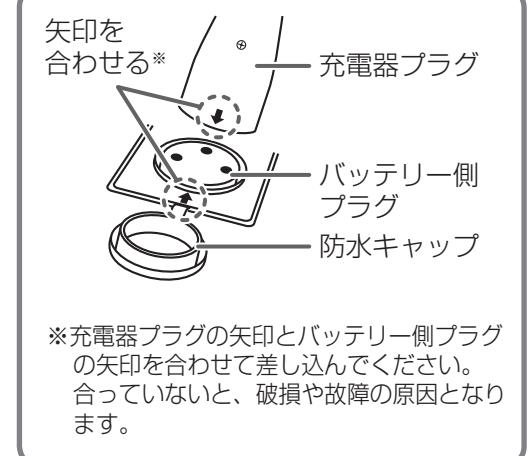
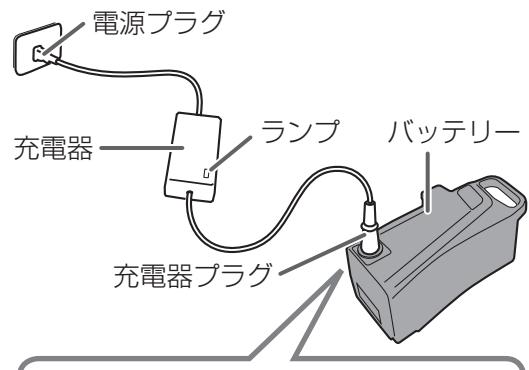
4 バッテリーから充電器プラグを抜き、防水キャップを閉めます。

### お願い

- 充電は、次の条件を満たす場所で行ってください。
  - 平らで安定している場所(絨毯や布団の上など、放熱しにくい場所での充電は避けてください。)
  - 温度が15~25°Cの屋内
  - 直射日光が当たらない場所
  - 幼児やペットが触れられない場所
  - 雨や水に濡れない場所
  - 風通しが良く湿気がない場所
- テレビやラジオにノイズが発生する場合は、場所を移動してください。

### お知らせ

- 充電時間はバッテリーの状態や充電環境によって変わります。
- バッテリー内部が高温、または極度に冷えているときは、バッテリー残量ランプの右2つが点滅して、充電待機状態をお知らせします。バッテリー内部が適正温度になると、充電が開始されます。
- 充電中にバッテリー内部が規定の温度を超えると、バッテリー保護のために自動的に充電を中断します。この場合、しばらくバッテリーを冷ました後、再度充電してください。



### 3 バッテリーについて（つづき）

## ■ バッテリー残量ランプについて

長期間使用するとバッテリーは徐々に劣化し、容量が低下がします。  
バッテリー残量ランプでバッテリーの劣化状態や充電回数を確認できます。  
バッテリー交換時期の目安にしてください。

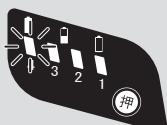
### ■ バッテリーの容量(劣化状態)を確認する

満充電時の容量を確認します。

バッテリー容量が60%以下になると、バッテリー交換時期の目安です。

#### ① バッテリー残量表示ボタンを約5秒間押します。

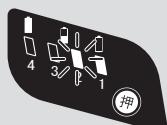
バッテリー残量ランプが点灯・点滅し、バッテリーの容量をお知らせします。



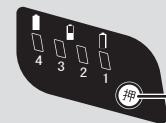
80%以上



79%～70%



69%～60%



バッテリー残量  
表示ボタンを  
5秒間押す



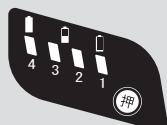
59%以下

### ■ バッテリー充放電回数(充電回数)を確認する

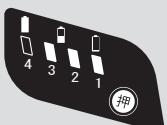
充電回数が300回以上になると、バッテリー交換時期の目安です。

#### ① バッテリー残量表示ボタンを約10秒間押します。

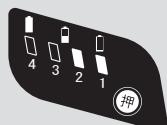
バッテリー残量ランプが点灯・点滅し、充電回数をお知らせします。



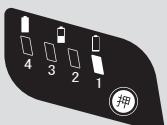
0回～99回



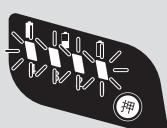
100回～199回



200回～299回



300回～399回



400回～499回



500回～599回



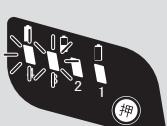
600回～699回



700回～799回



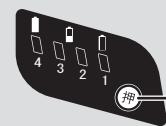
800回～899回



900回～999回



1000回以上



バッテリー残量  
表示ボタンを  
10秒間押す

### ■ 長期保管(1ヶ月以上)について

バッテリーは自己放電により保管時もわずかずつ放電し、バッテリー残量が低下します。

充電をせず長期間放置すると、過放電状態になりバッテリーが使用できなくなります。

長期保管(1ヶ月以上)するときは、自転車からバッテリーを取り外し、以下の要領で保管してください。

- バッテリー残量表示ランプが1～2灯点灯する状態にし、屋内の涼しい(15～25℃)湿気のない場所で保管してください。
- 月に一度はバッテリー残量を確認してください。1灯点滅になっているときは、1～2灯点灯する状態になるまで(約30分程度)充電して、バッテリーの残量が著しく低下しないようにしてください。

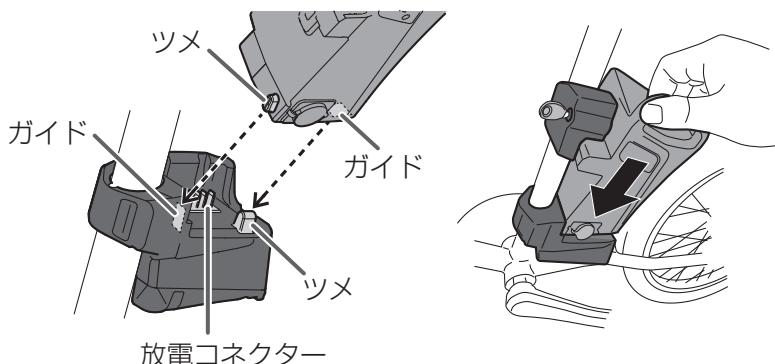
#### お願い

- バッテリーを取り外した後は、バッテリーホルダーの装着部や端子にほこりや水滴がついて錆びないように、サイクルカバーやブルーシートをかけてください。
- 「満充電」または「空」の状態で放置するとバッテリーの劣化が早まりますのでご注意ください。

## ■ バッテリーを取り付ける

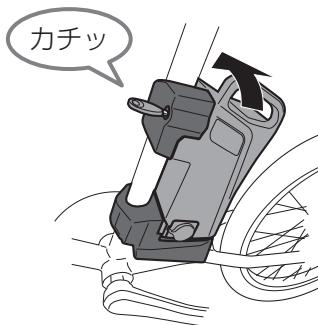
### 1 バッテリーとバッテリーホルダーのツメとガイド(2箇所)を合わせ、奥まで差し込みます。

- 接続部(放電コネクター)にゴミや水などが付着していないことを確認してください。付着している場合は拭き取ってください。



### 2 カチッと音がするまで、バッテリーの上部を自転車側に押して固定します。

- 取り付けた後、バッテリーを手前に引いて確実に固定されていることを確認してください。
- キーをバッテリーホルダーに差し込んだ状態でもバッテリーは取り付けられますが、手でバッテリーを軽く押しつけながら、キーを反時計方向に回してロックした後にキーを回してください。



### 3 バッテリーホルダーからキーを抜き取ります。

- キーを差し込んだ状態で走行しないでください。

## ⚠ 注意

! バッテリー取り付け時、手や指をはさまないよう  
してください。  
ケガの原因となります。

! バッテリーは確実に取り付けてください。  
バッテリーが走行中に落下するおそれがあります。

# 4 電動アシスト自転車のしくみと三輪自転車の特性

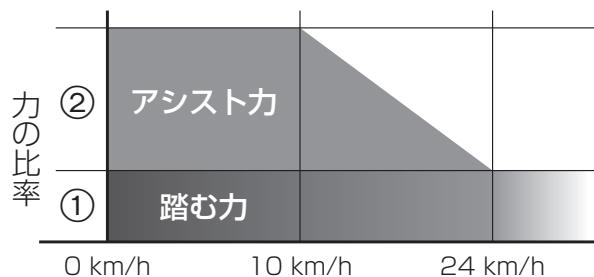
## ■ 電動アシスト自転車のしくみ

電動アシスト自転車は、ペダルを踏む力や走行速度などに応じて、基準の範囲内でアシストをします。

発進から10 km/hに達するまでは、ペダルを踏む力「1」に対して最大「2」<sup>\*1</sup>の力でアシストできます。

10 km/hを超えるとしだいにアシスト力を弱めていき、24 km/hでアシストをゼロにします。

※1 最大「2」は法令基準で、アシスト比は車種により違います。



- こんなときは、電動アシストシステムが作動しません。
  - メインスイッチの電源が切れているとき
  - 24 km/h以上のスピードで走っているとき
  - ペダルをこいでいないとき
  - バッテリー残量がなくなったとき
  - 自動電源オフ機能が作動したとき
  - 走行することができない故障や異常が発生したとき

## ■ 4種類の走行モードを装備

走行状況に合わせて、「坂道」、「平坦」、「エコ」、「ノーアシスト」の4種類の走行モードを選べます。  
(→25ページ)

## ■ 快適な速度で走行

走行速度が上がるにつれて、ペダルを踏む力に対するモーターの補助力の比率が減少していきます。

## ■ 自動電源オフ機能搭載

電源が入った状態で10分以上停車していると、バッテリー消費を軽減するために自動的に電源が切れます。

- 自動電源オフ機能が作動した後でも、メインスイッチの電源ボタンを押すと、再び電源が入ります。

## ■ オートライトシステム搭載

照度センサーが周囲の明るさ(照度)を検出し、前照灯(ライト)が自動で点灯/消灯します。

## ■ 通常の自転車としても走行できます

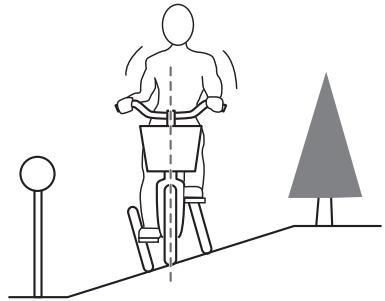
電源を切った状態、または「ノーアシスト」モードにすると、電動アシストシステムがオフになり、通常の自転車と同じようにご使用いただけます。

- 電源を切った状態では前照灯(ライト)は点灯しません。夜間やトンネルなどの暗いところでは、自転車から降りて押して歩いてください。

## ■ 三輪自転車の特性

三輪自転車は右図のように、特に路面の傾斜や凹凸の影響を受けやすくなっています。

路面状況によっては普通自転車に比べて運転しづらくなりますので、十分に注意して使用してください。

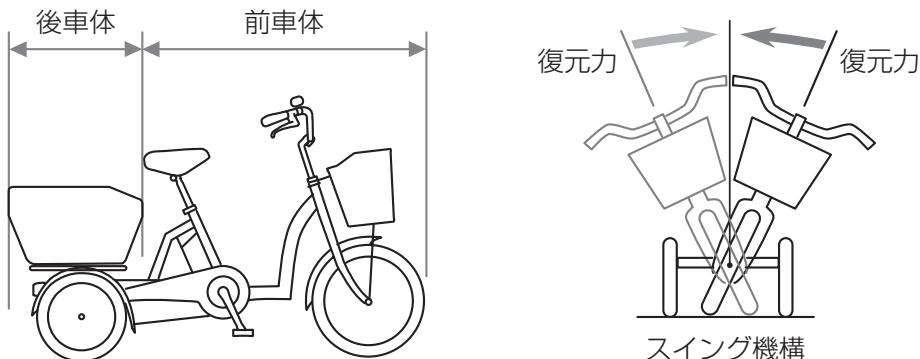


### ● スイング機構

本製品は「前車体」と「後車体」で構成されており、スイング機構を装備しています。

この機構により、前車体は後車体に対して、ある程度柔軟に左右に傾くことができます。

また、乗員が自転車を左右に傾けても、車体がバネの力により元に戻ろうとする復元力が働きます。



## ⚠ 警告

- !
  - 車体が傾くことによりハンドルがとられやすいので十分注意して運転してください。  
三輪自転車は普通自転車に比べて路面の傾斜や凹凸の影響を受けやすくなっています。

- !
  - 路面の傾斜や凹凸が大きい場合は、無理をせず、三輪自転車から降りて押して歩いてください。  
転倒する危険性があります。

## ⚠ 注意

- !
  - 本製品は、普通自転車や幼児用三輪車とは構造や走行性能が異なります。  
乗り方によっては転倒するおそれがありますので注意してください。

# 5

## お乗りになる前に

### 準備・調整する

正しい運転姿勢になるように、サドルの高さと角度、ハンドルの高さと角度を調整してください。

サドルの高さはお客様で調整することができます。

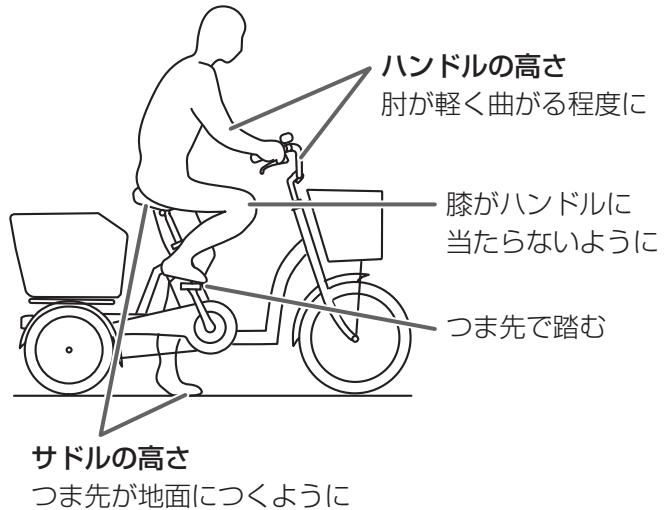
※ハンドルの高さ調整とブレーキレバーの位置調整には工具が必要です。

調整が必要な場合は、お近くの販売店または弊社お客様相談室に依頼してください。

#### ■ 正しい運転姿勢とは

サドルにまたがり、両手をハンドルグリップに軽くかけた状態で、以下のようにします。

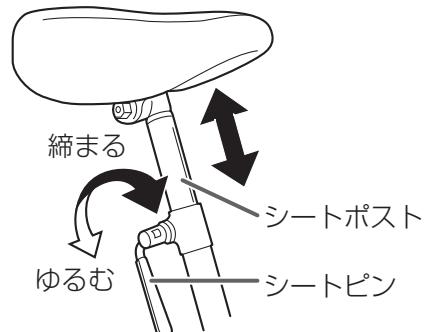
- 両足のつま先が確実に地面につく
- 両肘が軽く曲がる
- 両手の指がブレーキレバーを余裕がある状態で握れ、ベルなどが安全に操作できる
- 円滑にペダルを漕ぐことができる
- ペダルを漕いだときに膝がハンドルに当たらない



#### ■ サドルの高さ調整

サドルにまたがったときに両足のつま先が地面につくように、サドルの高さを調整します。

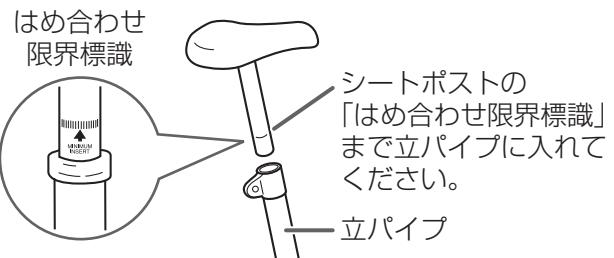
- 1 シートピンを緩めます。
- 2 シートポストを上下に動かし、サドルの高さを調整します。
- 3 高さが決まったら、シートピンを締めて固定します。



#### ⚠ 警告

- !  
サドルの高さ調整をする時は、シートポストの「はめ合わせ限界標識」が見えない範囲で調整してください。

はめ合わせ限界標識が見えている状態で使用すると、シートポストが破損したり脱落したりして、ケガのおそれがあります。

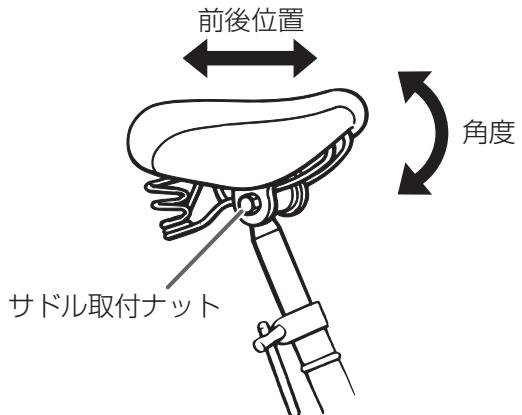


## ■ サドルの前後位置・角度調整

サドルの位置は、ペダルを斜め前の一番力の入れやすい位置にして足をペダルに乗せたとき、ひざの中心の真下にペダルの中心があるのが最適です。

サドルの角度は、サドルの上面がほぼ水平になるようにしてください。

- サドル取付ナットを緩め、前後位置と角度を調整します。
- 位置と角度が決まったら、サドル取付ナットをスパナで締めて固定します。

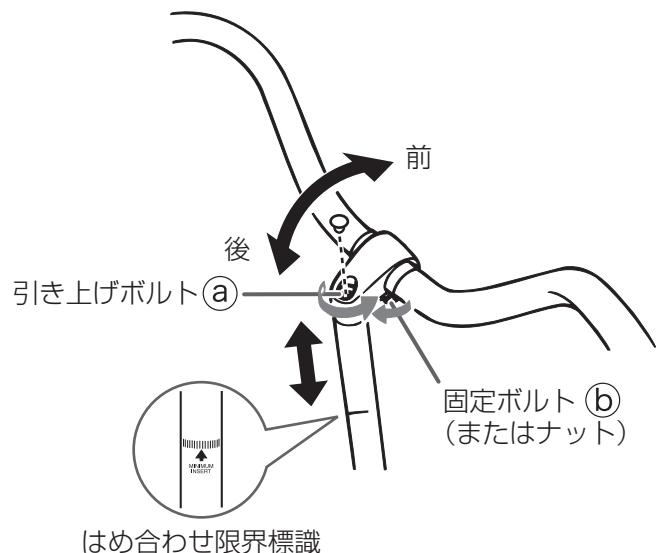


## ■ ハンドルの高さ・角度調整

引き上げボルト①を緩めると、ハンドルの高さを調整できます。

固定ボルト(またはナット)②を緩めると、ハンドルの角度を調整できます。

- 高さと角度が決まったら、引き上げボルト①と固定ボルト②を六角レンチまたはスパナで締めて固定します。



## ⚠ 警告

- ハンドルの高さを一番高く調整した場合でも、ハンドルシステムのはめあわせ限界標識が見えない範囲で調整してください。

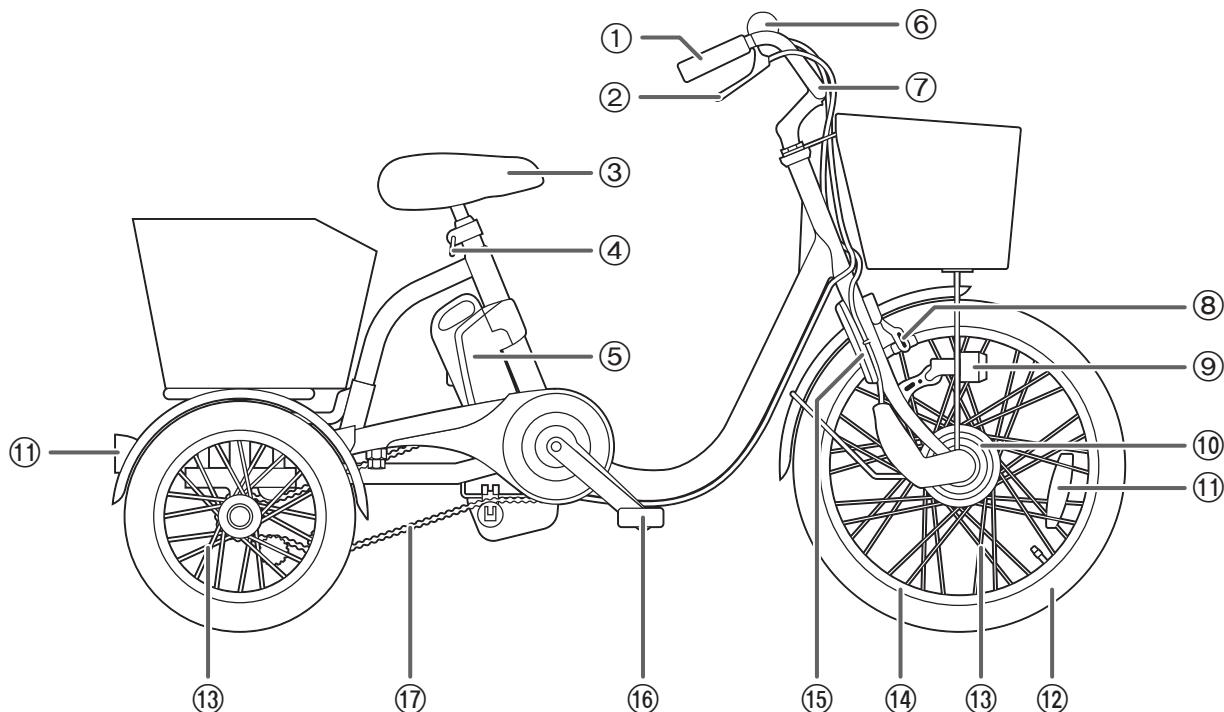
はめあわせ限界標識が見えていても、ハンドルを固定しているシステムの折れや、予期せぬハンドルの抜けにより事故やケガのおそれがあります。

## ■ 乗車前点検

乗車する前に必ず乗車前点検を実施してください。

- 乗車前点検はメインスイッチの電源を切って行ってください。
- 点検で異常が認められた場合は、速やかにお近くの販売店で点検してください。
- わからぬことや難しいと感じた時は販売店か弊社お客様相談室へご連絡ください。

## ■ 点検項目一覧

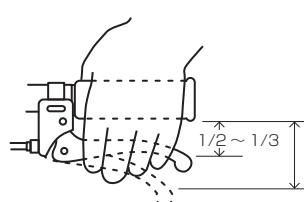


### ① ハンドルグリップの固定

ハンドルグリップに力をいれても回ったり抜けたりしないかを確認します。

### ② ブレーキレバーの握りしろ

前後のブレーキレバーをにぎり、レバーとハンドルグリップとのすき間が約1/2で、ブレーキが効くかを確認します。



### ③ サドルの状態

サドルにゆるみやがたつきがないかを確認します。サドルの高さは、サドルにまたがったときに両足のつま先が地面につくぐらいが最適です。

### ④ シートピンのゆるみ

シートピンにゆるみがないかを確認します。

### ⑤ バッテリーの取り付け状態

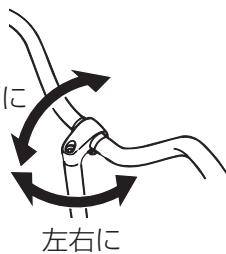
バッテリーが確実に固定されているかを確認します。（→15ページ）

### ⑥ ベルの鳴り具合

ベルがしっかりと鳴るか、動きが悪くないかを確認します。

## ⑦ハンドルの状態

ハンドルを上下左右/前後方向に動かし、がたつきがないことを確認します。ハンドルの高さは、サドルにまたがりハンドルグリップを握った時に軽く肘が曲がるくらいが適切です。

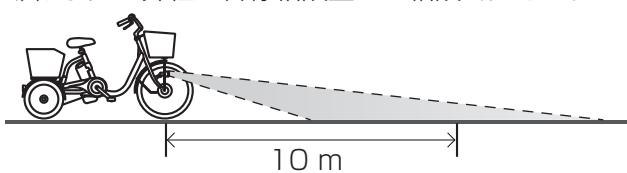


## ⑧ブレーキシューの状態

前ブレーキをかけた時、ブレーキシューが正しくリムに当たることを確認します。また、ブレーキシューが摩耗していないかを確認します。(→22ページ)

## ⑨前照灯の点灯と照射角度

前照灯の光軸中心が10 m前方の路面部を照らしているかを確認します。前照灯の点灯/消灯はメインスイッチのライトボタンで行います。点灯しない、または光軸がずれている場合は、販売店、または弊社お客様相談室にご相談ください。

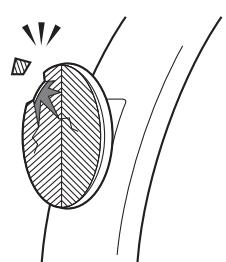


## ⑩電動アシストシステムの作動

メインスイッチの電源を入れてペダルに足をかけて発進したとき、電動アシストシステムが作動するかを確認します。

## ⑪ホイールリフレクター、リヤリフレクターの状態

リフレクター類に汚れや破損がないか確認します。汚れていたら汚れを拭き取ってください。破損していたら交換してください。



## ⑫タイヤの空気圧、摩擦、損傷

タイヤの空気圧が適正かを確認します。また、摩耗・ヒビ割れしていないか、異物や釘など鋭利な物が刺さっていないかを確認します。

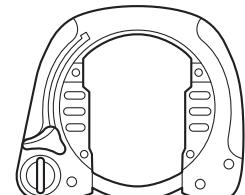


## ⑬前後ホイールとスポークの状態

前後車軸にゆるみやがたつきがないことを確認します。スポークやニップルに破断や折れ、変形などをがある場合は、早急にお近くの販売店へ交換を依頼してください。

## ⑭リム面の状態

リムのブレーキシューが当たる箇所に、変形、ふくれ、キズ、ヒビ、亀裂、振れ、汚れなどがないことを確認します。



## ⑮サークルロックの確認

サークルロックの動作がスムーズかを確認します。

## ⑯ペダルなど、可動部の状態

ペダルにがたつきがないか、スムーズに回転するかを確認します。がたつきなどがある場合は、ボルトなどの増し締めをします。

## ⑰チェーンの状態

チェーンが大きくなっているのか、油切れがなく、チェーンが滑らかに動くかを確認します。チェーンの調整および交換をする場合は、販売店にご相談ください。

## ■ ブレーキの点検・調整

自転車を長い間使用していると、ブレーキレバーのあそびが大きくなることによりブレーキの性能が低下し、自転車の制動力が低下します。

ブレーキはいつも正常に機能するように調整してください。

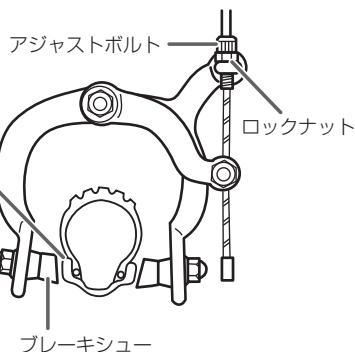
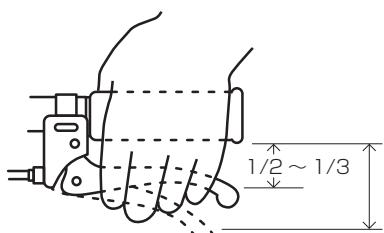
前後ブレーキ共に、アジャストボルトを緩めるとブレーキレバーのあそびが少なくなります。

ブレーキレバーを引いたときに、隙間が $1/2\sim1/3$ になるように調整してください。

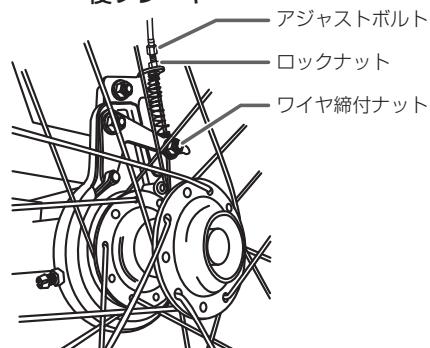
- アジャストボルトにロックナットが装着されている場合は、一度ロックナットを緩めてからアジャストボルトを調整してください。

調整後はロックナットを締め込んでください。

前ブレーキ

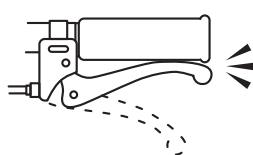


後ブレーキ



以下のようなときは、お近くの販売店にご相談ください。

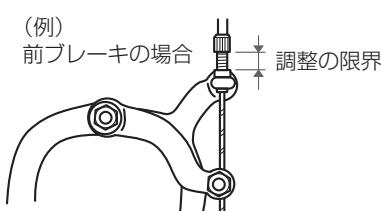
- ブレーキレバーの動作が悪いとき



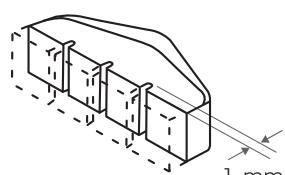
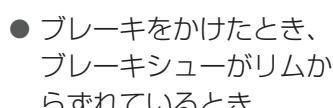
- ブレーキシューがリムに当たったままの状態になっているとき



- アジャストボルトで調整しきれないとき



- ブレーキシューがリムから離れているとき



## ⚠ 警告

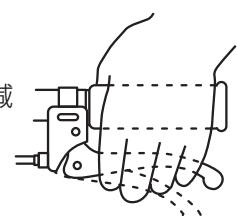
- ブレーキの整備が不十分のまま走行しないでください。

ケーブルが錆びた状態やほつれた状態、大きく摩耗したブレーキシューは制動力を低下させ、衝突・転倒のおそれがあり事故の原因となります。

速やかに、お近くの販売店で点検・整備、部品の交換をしてください。

- ブレーキレバーが確実に機能するか確認してください。

あそびが大きいと、走行中に減速できず事故やケガの原因となります。



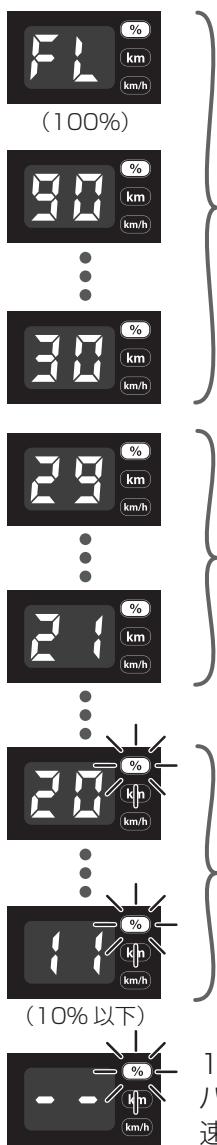
## ■ バッテリー残量の確認

電動アシスト三輪自転車に乗る前に、必ずバッテリー残量を確認してください。  
メインスイッチのメーター、またはバッテリーの残量ランプで確認できます。

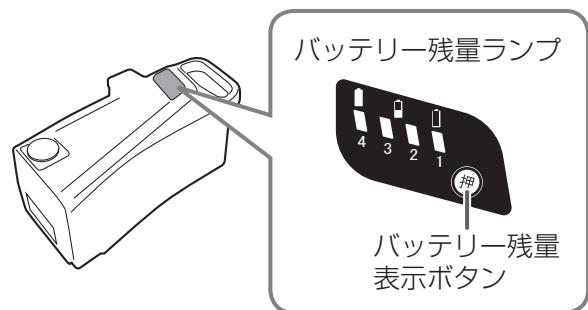
### ■ メインスイッチで確認する



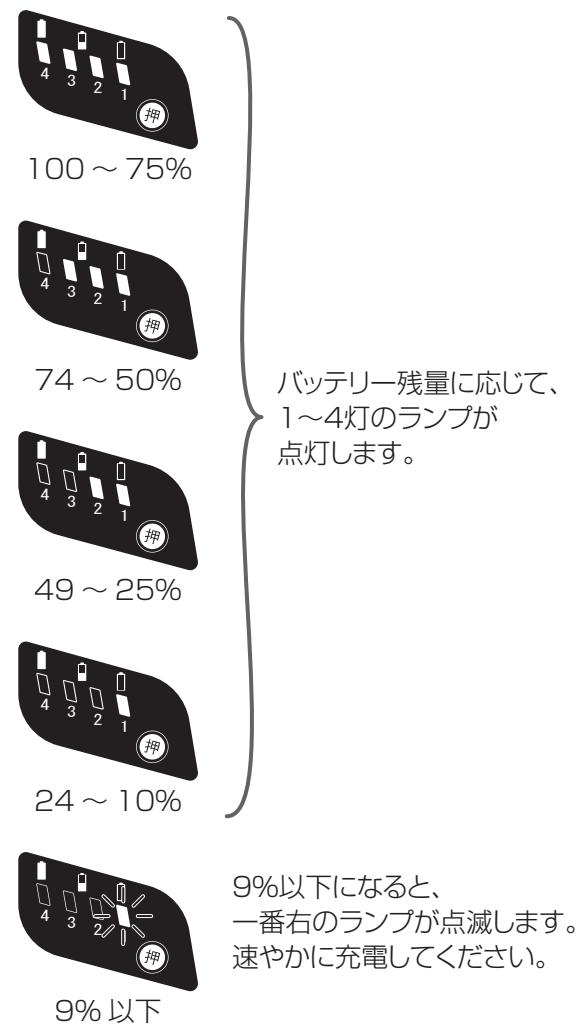
メインスイッチの電源を入れて、  
表示切替ボタンを押して、**(%)**を点灯させます。  
現在のバッテリー残量が表示されます。



### ■ バッテリー残量ランプで確認する



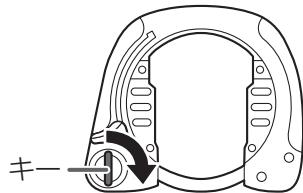
バッテリー残量表示ボタンを押します。  
バッテリー残量ランプが点灯/点滅し、現在のバッテリー残量をお知らせします。



# 6 乗りましょう

## 1 サークルロックを開錠し、サドルにまたがります。

- 鍵穴にキーを差し込み、時計回りに回すと開錠します。



## 2 ペダルに足をかけずに、メインスイッチの電源ボタンを押します。

電源が入り、メーターが点灯します。

その後、走行モード「平坦」ランプとバッテリー残量表示ランプが点灯し、バッテリー残量が表示されます。



## 3 右のブレーキレバーを握り、パーキングストッパーを解除します。

## 4 走り出す前に前後左右の安全を確かめ、ペダルをゆっくり踏み込みます。

### お知らせ

- 電源を入れたときは、メーターに10秒間バッテリー残量を表示します。その後自動的に走行速度の表示に切り替わります。ただし、最初の10秒の間に表示切替ボタンを押すと、自動的に走行速度の表示に切り替わりません。
- メーターのバックライトは、昼は明るために、夜はまぶしさを抑えて発光します。

### ■ こんなときは電動アシストシステムは作動しません。

- 16 km/h以上のスピードで走っているとき
- ペダルをこいでいないとき
- バッテリー残量がなくなったとき

メインスイッチのバッテリー残量メーターが「- -」を表示し、バッテリー残量表示ランプが早い点滅をしてお知らせします。

詳しくは、「バッテリー残量の確認」(→23ページ)をご参照ください。

## ■ ブレーキのかけかた

必ず前後ブレーキを併用してください。

### 1 後輪ブレーキを先にかけてから、前輪ブレーキをかけます。

#### お願い

- 下り坂では、ブレーキを前後共にかけて安全な速度で走行してください。
- 雨天などでブレーキがぬれているときは制動距離が長くなります。ブレーキを前後共にかけて、ゆとりあるブレーキ操作で安全運転を心がけてください。

#### お知らせ

- 長い下り坂を前後どちらかのブレーキだけを使って走行すると、ブレーキが加熱して効かなくなるおそれがあります。

## ⚠ 警告

🚫 前側または後側だけのブレーキ操作はしないでください。  
スリップして転倒によるケガのおそれがあります。

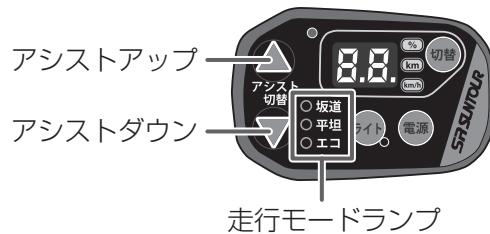
## ■ 走行モードの切り替えかた

選択されている走行モードのランプが点灯します。

- 電源を入れたときは、走行モードは常に「平坦」になります。

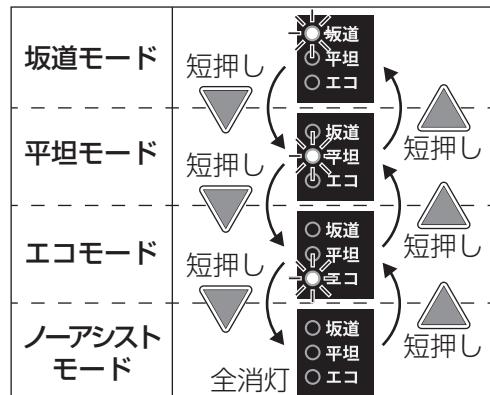
### 1 ▲ (アシストアップ)または▼ (アシストダウン)を押します。

走行モードが切り替わります。



坂道モード	急な坂道や重い荷物を積んで走行したいときに使います。
平坦モード	平坦な道や緩やかな坂道などで使います。
エコモード	できるだけ長い距離を楽に走りたいときに使います。
ノーアシストモード	メインスイッチの機能を活かしたまま、普通の三輪自転車として走りたいときに使います。

- ノーアシストモードのときは、走行モードランプが消灯します。



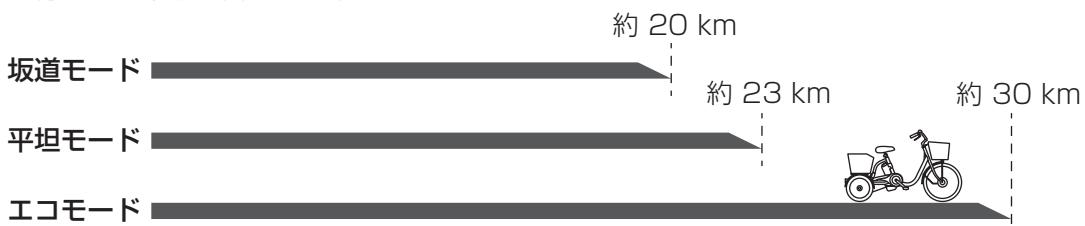
#### お知らせ

- 走行モードは、道路の状況などを考えて選択してください。
- ▲または▼を押し続けても、走行モードは一巡しません。
- 電動アシストユニットの温度が上昇すると、走行モードランプのいずれかが点滅することがあります。故障ではなく温度上昇を抑えるため、電動アシストユニットのパワーを制限している状態を示しています。温度が下がると点滅は消え、電動アシストユニットのパワーも通常に戻ります。

## 6 乗りましょう（つづき）

### ■ 走行できる距離について

1回の充電で走行できる距離は、走行モードによって異なります。  
走行できる距離の目安は以下のとおりです。



#### お知らせ

- 上記は、新品バッテリーを常温15°C～25°Cで使用し、積載重量は85kg(乗員および荷物を合計した重量)、無風の平滑乾燥路を無灯火で走行した状態を想定しています。
- バッテリー残量が0(ゼロ)になっても普通の三輪自転車として走行することができます。
- 坂道モードでは、アシスト力は強くなりますが走行距離は短くなります。
- エコモードでは、走行距離は長くなりますがアシスト力は弱くなります。

### ■ 走行距離が短くなるような環境や使いかた

走行状態によって、走行距離が短くなります。

- |               |           |                    |                |
|---------------|-----------|--------------------|----------------|
| ● 発進・停止の回数が多い | ● 急な坂道が多い | ● 路面の状況が悪い         | ● 積載量が多い(重い)   |
|               |           |                    |                |
| ● 向かいの風が強い    | ● 気温が低い   | ● 前照灯が点灯したままになっている | ● バッテリーが劣化している |
|               |           |                    |                |

以下のような整備不良の場合も走行距離が短くなる場合があります。

- チェーンが滑らかに動いていない
- 常にブレーキが効いている状態
- タイヤの空気圧が低下している

## ■ メーター表示の切り替え

選択されているメーターのランプが点灯します。

### 1 表示切替ボタンを押します。

メーター表示が切り替わり、それぞれのランプが点灯します。



メーター表示	メーター表示ランプ	表示内容
バッテリー残量	(%)	バッテリーの残量を表示します。 詳しくは、「バッテリー残量の確認」(→23ページ)を参照してください。
アシスト走行可能距離	(km)	バッテリーの残量でアシスト走行ができる距離(キロメートル)の目安を表示します。 この表示の時にアシストモードを切り替えると、アシスト走行可能距離の表示が変化します。
走行速度	(km/h)	走行速度(時速)を表示します。

### お知らせ

- バッテリー残量が20%以下になると、どの表示モードの時でもメーター表示ランプがゆっくり点滅します。バッテリー残量が9%以下になると、バッテリー残量メーターに「--」が表示され、どの表示モードの時でもメーター表示ランプが速く点滅します。  
詳しくは、「バッテリー残量の確認」(→23ページ)をご参考ください。
- バッテリー残量がなくなりアシストが機能しなくなっても、メーター表示および前照灯(ライト)は、安全のためしばらく点灯します。その状態で放置するとバッテリーが使えなくなることがありますので、できるだけ早くバッテリーを充電してください。(少なくとも、30分以上充電してください。)

### ■ オートライトシステム

電源を入れると同時に、オートライトシステムが作動します。  
照度センサーが周囲の明るさ（照度）を検知し、前照灯が自動で点灯/消灯します。

- ライトボタンを押して、手動で点灯/消灯することもできます。
- 前照灯が点灯しているときは、ライト点灯ランプも点灯します。



#### お願い

- 照度センサーについていた汚れは、こまめに拭きとってください。  
照度センサー部が汚れていると、周囲の明るさ（照度）を検知しにくくなり、周囲が明るくても前照灯が点灯することがあります。
- 前照灯の左右の取付角度を調整しないでください。無理に曲げると破損の原因になります。

#### お知らせ

- 照度センサーをカバーなどで覆うと、周囲の明るさ（照度）を検知できないため、オートライトシステムが正常に作動しません。
- 前照灯が点灯した状態でバッテリー残量が減少し、アシスト走行ができなくなると、前照灯はしばらくしてから消灯します。バッテリー残量が十分であることをご確認のうえ、ご使用ください。
- バッテリー残量がなくなっていても前照灯はしばらく点灯しますが、バッテリーがなくなる前に充電することを推奨します。
- 前照灯が点灯しているときに電源ボタンを押して電源を切ると、前照灯は消灯します。
- 電源が切れているときは、オートライトシステムは作動しません。また、ライトボタンを押しても前照灯は点灯しません。
- 手動操作で前照灯を点灯または消灯させた場合、電源を切り、再度電源を入れるまでオートライトシステムは無効になります。
- 前照灯が点灯していないときは、夜間やトンネルなどの暗いところでは無理をせず自転車から降りて押して歩いてください。

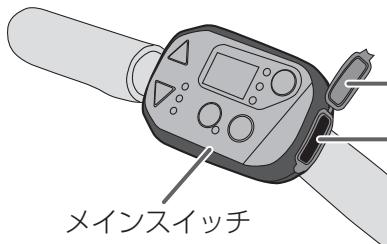
## ■ USB型給電ポートについて

メインスイッチのUSB型給電ポートにスマートフォンなど接続して充電することができます。

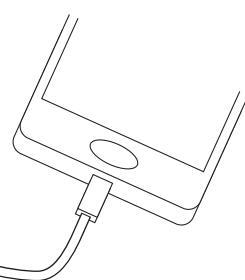
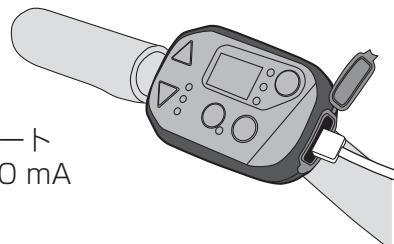
- 本製品の電源が入っているときのみ使用できます。

規格：DC 5 V、500 mA

スマートフォン接続イメージ



ゴム製フタ  
USB型給電ポート  
DC 5 V、500 mA



### お願い

- 使用しないときは、ゴム製フタを確実に閉じてください。わずかでも隙間があると水分や湿気の侵入経路になり、故障の原因になります。
- 雨天時は故障の原因になりますので、使用しないでください。
- スマートフォンなどを充電するときは、必ずスマートフォンに付属の充電用ケーブルをご使用ください。
- スマートフォンなどを充電するときは、片手運転にならないよう安全に注意したうえでお使いください。
- 充電時はスマートフォンを落とさないように注意してください。

### お知らせ

- 給電ポートはDC 5 V/500 mAの出力が可能です。  
充電電流が接続した機器の定格を超えるときは、保護回路が作動し充電できない場合があります。
- パソコン側と通信を行なう仕様の機器の場合、充電できない場合があります。
- 機器のバッテリー残量が0のとき、またはスマートフォン以外の機器を充電するときは、起動に時間がかかる場合や充電できない場合があります。
- 万一、本給電ポートの使用中に機器のメモリー内容が消去されても、当社では一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。

### ■ 荷物の積載について

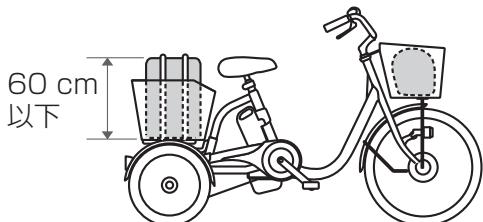
荷物の積み過ぎには注意してください。

本製品の最大積載重量(乗員の体重と積載重量の合計)は **85 kg** です。

※ 本製品は、乗員の体重を 65 kg と想定しています。

前バスケットおよび後ろバスケットの最大積載量と積載物の大きさの限度は下記のとおりです。

	前バスケット	後ろバスケット
最大積載量	3 kg まで	17 kg まで
積載物の大きさの限度	高さ・前後・左右ともバスケットから はみ出ないこと。	高さは 60 cm 以下で、前後・左右から はみ出さないこと。



#### お願い

- 荷物の積み過ぎは走行安定性を著しく低下させ危険です。また、はみ出した荷物は歩行者や自動車に接触するおそれがあり危険です。最大積載重量および積載物の大きさの限度を超えないようにしてください。
- 荷物以外(子ども、犬など)は乗せないでください。
- 個人差がありますので、仮に標記の積載条件の範囲内であっても、運転に不安がある場合は自転車の使用はしないでください。

#### お知らせ

- 荷物を積み過ぎるとバッテリーに過大な負荷をかけるため、走行できる距離が短くなります。
- チャイルドシートは使用できません。

# 7

## 駐輪のしかた

駐輪するときは必ずパーキングストッパーをかけてください。

- 本製品はスタンドがありません。パーキングストッパーをかけないと、ひとりでに動き出して事故を誘発するおそれがあります。

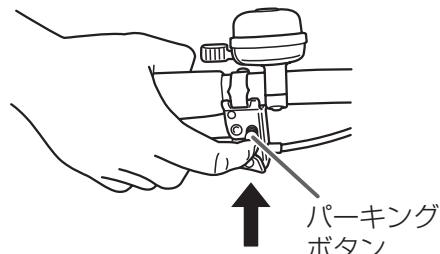
### 1 電動アシスト三輪自転車を停車させます。

平坦で安定の良い場所に停車します。

### 2 右のブレーキレバーをいっぱいに握り、パーキングボタンを押します。

パーキングストッパーがかかります。

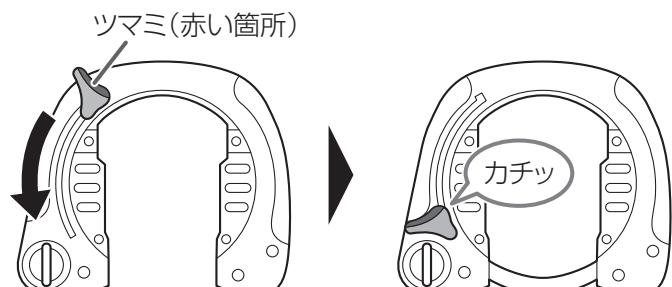
- パーキングストッパーを解除するときは、右のブレーキレバーをいっぱいまで握ります。



### 3 メインスイッチの電源ボタンを押して、電源を切ります。



### 4 サークルロックのツマミの赤い箇所を押しながら、「カチッ」と音がするまでツマミを回します。



### 5 キーを抜き取ります。

サークルロックが施錠されます。

- キーを抜かない限りは施錠されません。

#### お願い

- 必ず駐輪場などの決められた場所へ駐輪してください。
- 歩行者や自動車の迷惑にならない場所に駐輪してください。
- 駐輪禁止の場所には停めないでください。
- メインスイッチの電源は必ず切ってください。電源を切り忘れるとき、バッテリーの放電が早くなり、次回乗車時に充電不足で電動アシストシステムが作動しなくなることがあります。
- 盗難予防のため、必ずサークルロックをかけてください。
- サークルロック施錠後、電動アシスト三輪車を強く前後に動かさないでください。前輪のスポークがサークルロックにあたり、変形や故障のおそれがあります。
- あらかじめキーの番号を確認し、42ページの[キーNo]欄にキー番号を控えてください。番号を控えておくことにより、キーを紛失した場合にキーの作成が可能です。
- サークルロックに破損、異常があるときは、弊社お客様相談室へご連絡してください。

# 8 お手入れのしかた

## ■ 日常のお手入れ

乾いた布で泥、土、ホコリ、水濡れを拭きとってください。

## ■ 金属部のお手入れ

スパークなどの金属部は、防錆剤を布に吹き付けて拭いてください。

## ■ フレームなどの金属塗装部のお手入れ

汚れをしっかり取り除いた後、乾いたタオルに少量のワックスを付けて磨いてください。

## ■ 樹脂部、バッテリー部のお手入れ

樹脂部品、バッテリーのケースの汚れは、水を含ませ固く絞ったタオルなどで拭き取るようにしてください。

### お願い

- 高圧洗車機やホースの先端をすぼめて圧力のある水をかけないでください。  
本製品は日常防水性を備えていますが、内部に水が入り、故障の原因になることがあります。
- 電動アシストユニット(モーター、メインスイッチ、バッテリーおよび充電器)を水洗いしないでください。  
感電のおそれがあります。
- ブレーキの制動面やタイヤ、リムなどに防錆剤やワックスなどの油脂類を付着させないでください。  
油脂類が付着するとブレーキの効きが悪くなり、衝突や転倒の事故の原因になります。
- タイヤ、ブレーキシューなどのゴム類には絶対にワックスを付着させないでください。ひび割れの原因になります。
- ガソリンや灯油、アルカリ性あるいは強酸性のクリーナー、およびその他の溶剤などを付着させないでください。  
ひび割れなどの原因になります。
- バッテリー底部の接点をヤスリで磨いたり、針金などで掃除しないでください。故障の原因になります。

## ■ 注油について

注油は、決められた箇所に少量を注油してください。放置すると劣化が早まります。  
多すぎると、ホコリやゴミが付着しやすくなり、可動部分が故障しやすくなります。



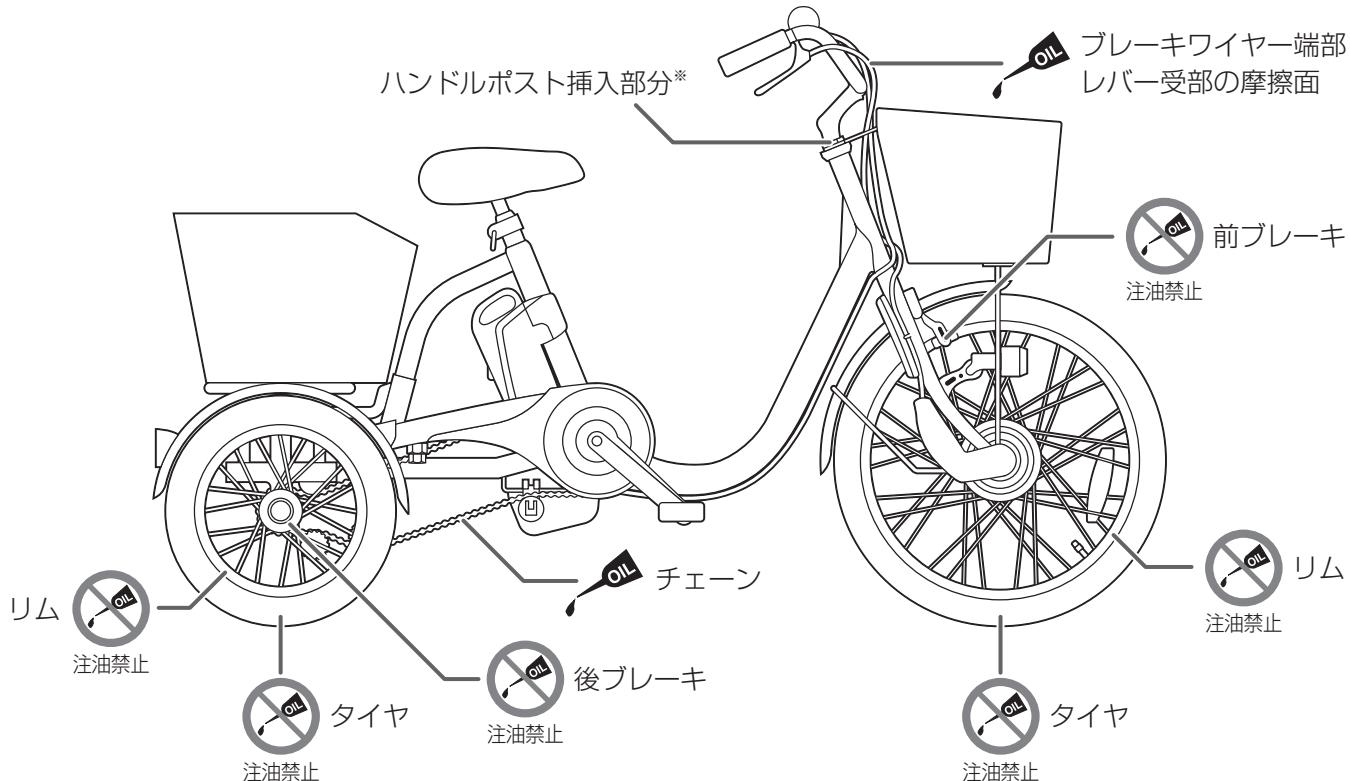
### 注油箇所

この記号の箇所に注油してください。



### 注油禁止箇所

この記号の箇所には絶対に油やグリスをつけないでください。



### お願い

- 注油は自転車用油を使用してください。食用油は使用しないでください。
- ※ ハンドルポスト挿入部分には、潤滑油(浸透性の油)は注油しないでください。  
固定力が低下してハンドル操作ができなくなるおそれがあります。ただし、さびによる固着防止のためにグリスを薄く塗布するには可能です。

## ! 警告

ブレーキの制動面やタイヤ、リムに注油しないでください。  
ブレーキが効かなくなり、事故の原因になります。



## ■ 初回点検・定期点検について

点検・整備は販売店で、自転車安全整備士・自転車技師(自転車組み立て整備士)、またはそれと同等の技能を有する者により受けてください。

### ■ 初回(2ヶ月または100km走行後)点検

- お買い上げいただいた電動アシスト三輪自転車は工場で厳密な検査を施した後に出荷されていますが、ボルトのゆるみが生じることがあります。
- 2ヶ月または100km走行後の期間内に、お買い上げいただいた販売店に電動アシスト三輪自転車と保証書／点検・整備の記録をお持ちの上、点検・整備を受けてください。  
また、使用状況により部品の交換が必要な場合は、有料となることがありますので、あらかじめ弊社お客様相談室へご相談ください。
- 販売店での整備・点検は有料になります。

### ■ 定期点検

- 長く大切にお乗りいただくために、異常を感じた時、または、購入から6ヶ月、12ヶ月、その後は1年ごとに販売店で定期点検を受けてください(有料)。
- 消耗した部品や、異常箇所をそのままにしてお乗りになると大変危険です。定期的に点検することで、本製品の性能が長持ちします。

## ⚠ 警告

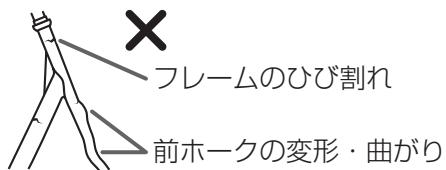
! 初回点検・定期点検は必ず実施してください。

! 自転車においてブレーキは最も重要な機構です。乗車前点検に加え、定期的に販売店での点検を受けるようにしてください。

! ブレーキワイヤーは消耗部品です。異常がなくても、販売店に依頼して2年に1回は交換するようしてください。  
ブレーキが効かなくなるおそれがあり、衝突事故やケガの原因になります。

! 変形、破損した部品はすぐに交換してください。  
予期せぬ故障により事故・転倒のおそれがあります。

! フレームや前ホーク、ギヤクランクやペダルなどの部品に変形やひび割れはないか確認してください。  
走行中に壊れ、事故やケガの原因となります。



! ハンドル、サドルの固定が十分か確認してください。  
走行中に操作ができなくなり事故の原因となります。

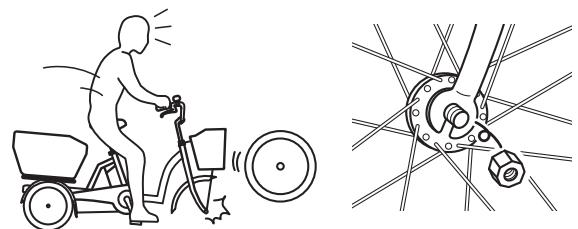


! チェーンが大きくなっているか確認してください。

チェーンのたるみが大きい状態で走行すると、  
チェーンが外れやすくなり危険です。  
速やかに、お近くの販売店での調整を受けてください。

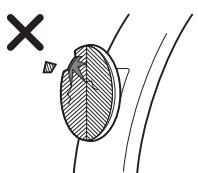
! ホイールが確実に固定されているか確認してください。

走行中にホイールが外れ、転倒、事故、ケガの原因となります。



🚫 リフレクターが破損、汚れた状態で使用しないでください。

視認性が低下して事故の原因となります。



# 10 こんなときには

以下の表に従ってお調べいただき、直らない場合は販売店または、弊社お客様相談室にご相談ください。

## ■ 故障かなと思ったら

### ■ ペダルが重い・アシストしない

症状および確認内容	対処方法	ページ
メインスイッチの電源は入っていますか？	電源を入れてください。	9
エコモードになっていませんか？	必要に応じて平坦モードまたは坂道モードに切り替えてください。	25
ノーアシストモードになっていませんか？	ノーアシストモードではアシストは停止しています。 必要に応じて走行モードを切り替えてください。	25
バッテリーは確実に取り付けられていますか？	充電済のバッテリーを確実に取り付けてください。	15
バッテリー残量メーターが「--」で、ランプが速い点滅をしていませんか？	バッテリーの残量がゼロです。 充電をしてください。	13
タイヤの空気圧が低くありませんか？	自転車用空気入れを使用し、適切な空気圧まで空気を入れてください。	21
メインスイッチの電源を入れてから、停車したまま10分以上ペダルに踏む力をかけない状態が続いていませんか？	自動電源オフ機能が作動しました。 再度、電源を入れなおしてください。	9
気温が高いところで使用していませんか？ または走行負荷が大きい走りかた(長い坂道や重い荷物を積載)をしていませんか？	バッテリーまたは電動アシストユニットの温度が上がったための制御で、異常ではありません。温度が下がれば回復します。 自転車への負荷を軽くし、バッテリーや電動アシストユニットを少し休ませてから再度使用してください。	38
気温が低いところで使用していませんか？	気温が暖かくなると回復します。また、15℃～25℃の屋内にバッテリーを保管しておいて使用すると、この症状を軽くすることができます。	—
メインスイッチが異常表示や異常点滅をしていますか？	「メインスイッチの異常表示」をご参照ください。	38
走行中にメインスイッチの表示が全て消灯した。	電動アシストシステム内部のトラブルが考えられます。 使用を中止して、販売店で点検・整備を受けてください。	—
電源ボタンを押しても電源が入らない。		

### ■ 走行距離が短い

症状および確認内容	対処方法	ページ
バッテリーは充分に充電されていますか？	満充電になるまで充電してください。	13
バッテリーが劣化していませんか？	バッテリーの容量を確認し、必要に応じてバッテリーを交換してください。	14
気温が低いところで使用していませんか？	気温が暖かくなると回復します。また、15℃～25℃の屋内にバッテリーを保管しておいて使用すると、この症状を軽くすることができます。	—

## ■ 充電できない

症状および確認内容	対処方法	ページ
電源プラグはしっかりと接続されていますか？また、バッテリーは確実に接続されていますか？	もう一度、接続をやりなおして充電してください。	13
充電器の充電ランプは点灯していますか？		
バッテリーのバッテリー残量ランプは点灯していますか？		
走行直後の自転車から取り外したバッテリーを充電しようとしていませんか？	故障ではありません。 走行直後の自転車から取り外したバッテリーに充電器を接続した際に、充電が開始しないことがあります。これはバッテリーの内部温度が充電可能な温度よりも高くなっているためです。 バッテリー内部の温度が過度に高いか、または過度に低くなっていると、充電待ちの状態になります。 バッテリー内部温度が充電に適した温度になると自動的に充電が開始されます。	—

## ■ バッテリー、モーター、コントローラーから異音・異臭あるいは煙が発生する

症状および確認内容	対処方法	ページ
電動アシストユニットから普段と異なる音や異臭、煙が出る。	使用を中止して、すぐにメインスイッチの電源を切り、販売店で点検を受けてください。	—
充電器から異音や異臭、煙が出る。	充電を中止して、すぐに充電器の電源プラグを抜き、販売店で点検を受けてください。	—

## ■ 充電器が熱い

症状および確認内容	対処方法	ページ
手で触れることができる程度熱い。	充電中は多少の熱(約40°C~60°C)を持ちます。 故障ではありません。	—
手で触れることができないほど熱い。	充電を中止して、すぐに充電器の電源プラグを抜き、販売店で点検を受けてください。	—

## ■ オートライトシステムが作動しない

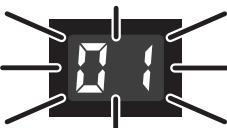
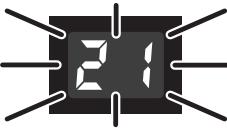
症状および確認内容	対処方法	ページ
メインスイッチの電源は入っていますか？	電源を入れてください。	9
照度センサーが汚れていませんか？	照度センサーの汚れを拭き取ってください。	28
照度センサーをカバーなどで覆っていますか？	照度センサーが周囲の明るさ(照度)を検出できないため、オートライトシステムが正常に作動していません。 照度センサーを覆っているものを取り除いてください。	28
ライトボタンを押しましたか？	故障ではありません。 ライトボタンを押して前照灯を点灯または消灯させた場合、メインスイッチの電源を切り、再度電源を入れるまでオートライトシステムは無効になります。	28

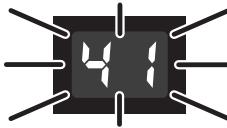
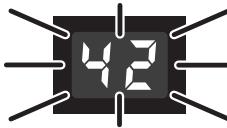
## ■ メインスイッチの異常表示

メインスイッチに以下のような点滅表示が出ると、アシスト機能が効かなくなります。

**対処方法：一度電源を切り、念のためバッテリーを取り外して5秒以上経過した後、再度バッテリーを取り付け、電源を入れ直してください。**

- 過熱エラーに該当するものは、電源を切って15分以上屋内または日陰で冷却させてから電源を入れ直してください。
- 電源を入れ直しても同じ表示が出る場合は、速やかに使用を中止してお近くの販売店、または、弊社お客様相談室へご連絡ください。

点滅表示	症状および確認内容
	コントローラー 通信なし
	コントローラー 過熱エラー
	ランプ 電源ショート
	コントローラー メモリーエラー
	トルクセンサー 電圧エラー
	トルクセンサー 機構エラー

点滅表示	症状および確認内容
	電池過電流エラー
	電池電圧 範囲外エラー
	電池過熱エラー
	モーター過熱エラー
	モーター センサーエラー

バッテリーとシステム本体の通信が正常ではない場合、バッテリー残量が以下のように表示されます。また、この表示が出た場合、残りのアシスト走行可能距離は表示しなくなります。

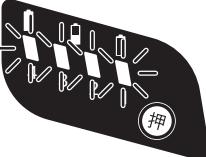
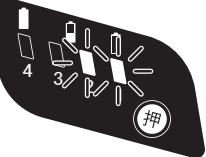
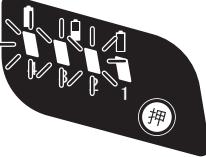
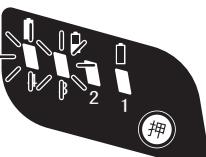
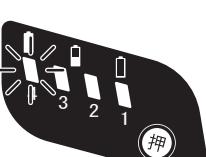
**対処方法：バッテリーを取り外し、15秒以上経過させてから再度バッテリーを取り付け、電源を入れ直してください。**

- 破損に至る故障ではありませんので自転車に乗車することは可能ですが、電源を入れ直しても表示が変わらない場合は、販売店で点検をお受けになるか、弊社お客様相談室へご連絡ください。

メインスイッチ表示	症状および確認内容
	※バッテリー残量の目安 L4 … 満充電～3/4
	L3 … 3/4～1/2 L2 … 1/2～1/4
 ゆっくり点滅	L1(ゆっくり点滅)… 1/4～1/5
 はやい点滅	L1(はやい点滅)… 1/5以下 L0(はやい点滅)… ほぼ0
 はやい点滅	

## ■ バッテリー残量ランプの異常点滅

バッテリーに異常がある場合、バッテリー残量ランプが以下のように点滅・点灯します。

症状および確認内容	対処方法
 4つ早い点滅	温度保護(放電時) <p>バッテリーの内部が高温、または過度に冷えているときは、バッテリー残量ランプが左図のように点灯・点滅して、充放電ができなくなります。 温度が適正に戻るとランプが消えて、充放電もできるようになります。 バッテリー内部の温度が適正になるまで使用を中止してください。 繰り返し点滅表示する場合は、弊社お客様相談室へご連絡ください。</p>
 2つ早い点滅	温度保護(充電時) <p>端子間の異物、ゴミなどがあれば掃除してください。 バッテリーの取り外しをしてエラーが解除される場合は、システム側に異常があります。 弊社お客様相談室へご連絡ください。</p>
 3つ早い点滅 1つ点灯	過電流保護(放電時) <p>充電器側に異常があります。 弊社お客様相談室へご連絡ください。</p>
 2つ早い点滅 2つ点灯	過電流保護(充電時) <p>弊社お客様相談室へご連絡ください。</p>
 1つ早い点滅 3つ点灯	その他エラー <p>弊社お客様相談室へご連絡ください。</p>

## ■ 保管するときは

以下のようなところに保管してください。

- 地面が平坦で安定しやすいところ
- 風通しがよく、湿気のないところ
- 雨つゆや直射日光が防げるところ

### お願い

- メインスイッチの電源を切ってください。

電源を切り忘れると、バッテリーが自然放電しやすくなり、バッテリー残量不足で、次回乗車時に電動アシストシステムが働かなくなるおそれがあります。

- 盗難防止のため、サークルロック(前輪錠)は必ずかけてください。
- タイヤのパンクを防ぐために、保管中も定期的にタイヤの空気圧を確認してください。空気圧が下がっている場合は、空気を入れてください。

### お知らせ

- 雨やほこり、直射日光による自転車のサビの発生や劣化を防ぐために、サイクルカバーやビニールシートをかけて保管することをおすすめします。

## ■ 廃棄するときは

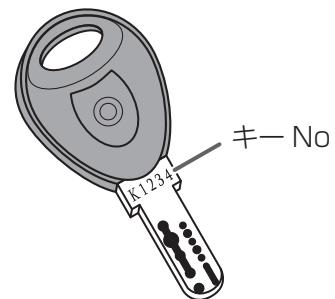
電動アシスト三輪自転車を廃棄する場合は、各地区のゴミ分別や回収のルールに従ってください。

## ■ スペアキーについて

キーは3本付属されています。

バッテリーのキーとサークルロックのキーは兼用になっています。

もし紛失した場合は、控えたキーNoと必要事項を明記して、下記宛先まで郵送してください。



### お知らせ

- 部品の生産終了や在庫切れにより、対応できない場合もあります。
- スペアキーは、元のキーに対してつまみの形状などが異なる場合があります。
- お客様の自転車の本体Noなどから、キーNoを弊社で調べることはできません。  
(弊社には、1台ごとのキーNoデータは管理していません。)

### 安心のスペアキー直送システム



キーを紛失した場合は、1本1,000円分（複数個必要な場合は必要個数×1,000円分）の切手を同封の上、封書にて「キーNo」と商品名（JL-17/19）、必要個数、送付先の住所・お名前・連絡先（電話番号）を明記の上、下記住所宛にお送り下さい。  
ご指定の場所にスペアキーをお送りします。

※キーNoがわからない場合スペアキー対応が出来ません。万一に備えて、お買い求め時に必ずキーNoを控えておいて下さい。

キー No

商品名 JL-17/19

郵送先：〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻862-1 株式会社PassGate EKS係  
TEL: 0572-55-6083 MAIL: info@passgate.co.jp

## ⚠ 注意

!  
紛失する前に必ずキーNoを控えてください。  
紛失した場合、キーNoがわからないとスペアキーの発注ができません。

!  
防犯上の理由からスペアキーの対応ができない場合もあります。

!  
自転車のスペアキーは、一般の鍵屋では作れません。

機種名／型式名	ランドパル／ASU-3WSR	
全長	1550 mm	
全幅	560 mm	
軸間距離	1100 mm	
サドル高	725 mm ~ 885 mm	
適応身長	135 cm ~	
使用者最大体重	65 kg (想定)	
車両重量	30 kg	
タイヤサイズ	前：20×1.75 HE、後：14×1.75 HE	
駆動方式	チェーン式	
制動装置	前	キャリパーブレーキ
	後	内拡式ブレーキ
満充電あたりの走行できる距離(目安)	エコモード：30 km 平坦モード：23 km 坂道モード：20 km	
補助速度範囲	比例補助	0~10 km/h
	遮減補助	10~24 km/h
電動機	形式	ブラシレスDC式
	定格出力	250 W
	補助力制御方式	踏力比例制御方式
蓄電池	品番・種類	EBBA16-ST3606UPA-BL リチウムイオン電池
	定格電圧	36.0 V
	定格容量	4.3 Ah
	Typ.容量	4.3 Ah
充電器	品番・形式	EBBC16-M03602C-FRB
	電源	AC100 V(50 Hz-60 Hz)
	消費電力	1.8 A
	充電時間	約2時間30分 <sup>*1 *2</sup>
照明装置(前照灯)	バッテリーライト	

※1 長期間放置したバッテリーを充電した場合、電池の状態により充電時間が伸びることがあります。

※2 お買い求めいただいた電動アシスト自転車に装備されているバッテリーと充電器を使用した場合の  
およそその時間です。バッテリーの種類および充電器の種類によって充電時間が異なる場合があります。

## ⚠ 警告

**!** 自転車をより快適に、そして安全に乗るために、交通ルールを守って安全運転を心がけましょう。

安全に運転するため、各項目に気をつけてください。

守らないと、衝突や転倒などの事故によるケガのおそれがあります。

信号機のない交差点では、曲がる方向や停止することを手信号で合図する。

● 手信号での合図のしかた



子供の飛び出しなどに注意する。

学校のそば、スクールゾーン、公園の周辺など、子供がよく出入りする施設の周辺などでは、特に子供の飛び出しに注意して走行してください。

走行するときは、車道の左端を通行する。

自転車は、道路交通法上の「軽車両」であり、車両の一種です。車道と歩道の区別がある道路を走行するときは、原則として、車道を左側通行で走行しなければなりません。

ただし、下記のような場合は、自転車でも歩道を通行できます。

- 道路標識などで指定された場合
- 運転者が児童、幼児などである場合
- 交通の状況から見て、歩道での走行がやむを得ない場合

自転車横断帯のあるところでは、  
自転車横断帯を通行する。

自転車横断帯のあるところでは、横断歩道や車道ではなく、自転車横断帯を通行してください。

信号を守って通行する。

正面の信号が青のときに通行できます。

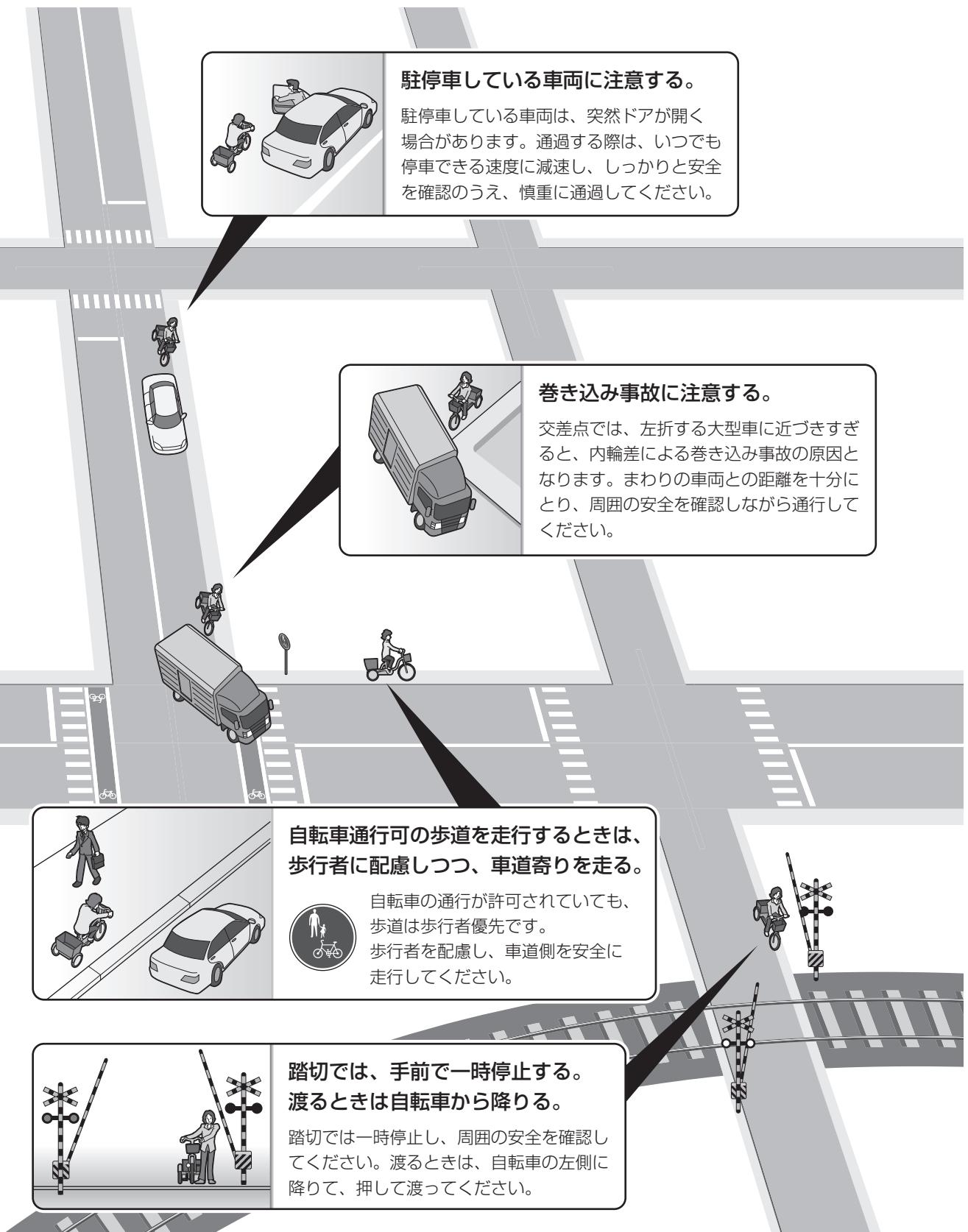
- 直進・左折ができます。
- 右折をする際は、二段階右折（下記）を行ってください

二段階右折のしかた

① 正面の信号が青になったら、直進して向こう側に渡り、右の信号が青になるのを待つ。

② 右側の信号が青になったら、向こう側に渡る。

- 左図 → のような曲がりかたをしないでください。



### ■ 自転車保険の義務化について

地域によっては、「自転車保険の義務化」が定められています。

自転車保険の義務化とは、「自転車の安全利用に関する条例」の中にある取り組みの一部で、自転車事故による被害者の救済と、加害者の経済的負担を軽減することを目的として、自転車保険に加入するように条例で義務づけたものです。

対象は自転車を利用する人すべてで、本製品を利用する場合も対象となります。

義務化が定められている地域で本製品を利用する場合は、自動車保険に加入してください。

### ■ 防犯登録について

防犯登録は法律により義務付けられています。必ず実施してください。

#### ●制度の意義

防犯登録は「自転車の安全利用の促進および自転車駐車場の整備に関する法律第12条第3項」により義務付けられています。

これは多発する自転車の盗難、さらに盗難された自転車が駅前などに放置され、市民生活に支障をきたす状況を改善することを目的に制定されました。

#### ●登録の仕方

防犯登録協会から委託を受けた自転車販売店(以下「登録所」という)での手続きが可能です。(大手スーパーやホームセンターの自転車売り場、販売店など)

防犯登録は有料になります。

#### ●自転車が盗難にあった場合

地元の警察署に盗難届けを提出してください。この時、防犯登録ナンバーが必要になります。

防犯登録ナンバーが不明だと見つかりにくくなります。

防犯登録カードは無くさず保管しておいてください。

### ■ 盗難補償について

#### ◆自転車の盗難補償(メーカー保証)

電動アシスト三輪自転車が盗難にあわれた場合の補償制度について

- 名 称：「フランスベッド自転車盗難補償制度」
- 保障 内容：盗難に関わる同型新車の提供(ご購入より2年間)
- 免 責 額：標準価格の50%
- 保 障 条 件：
  - ・ 盗難届出証明書(警察へ届け出していたいたい盗難届の受理票)
  - ・ 盗難車のカギ(スペア含む)
  - ・ 保証書(ユーザー登録されていない場合は補償の対象外になります)
- 内 容：盗難にあわれたお客様に免責金額をお支払いいただくと、新たに新車(同型商品)を提供します。

お客様が「電動アシスト三輪自転車」の盗難の被害にあった場合、必要書類をフランスベッドお客様相談室へ送付していただき、お客様相談室より直接お電話させていただきます。その後、免責金額のご入金を確認させていただき、同型自転車(新車)の発送手配をさせていただきます。ただし、「電動アシスト三輪自転車」購入時に同封されている「ユーザー登録ハガキ」にて登録を済ませている方に限ります。登録をお済ませでない方は本補償制度の適用になりません。

また、充電器は対象外とさせていただきます。

詳しい内容は、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

# 13 点検・整備の記録

## ■ 点検・整備項目 (※点検時期以外でも異常を感じた場合は、点検・整備を受けてください。)

- お買い求めの後、100 km 到達時または2ヵ月以内に初回点検、2回目は6ヵ月以内、その後は1年ごとに実施してください。
- 異常を感じた場合は下記の点検を実施し、整備を受けてください。

	点検項目	初回	6ヵ月	1年	2年	3年	4年	5年
車体本体	フレーム・前ホークに変形や亀裂はないか							
	ハンドルの取り付け状態、回転具合とガタツキ							
	ブレーキ各部の作動と取付状態、注油の確認							
	前後ブレーキの効き目と摩耗状態・調整							
	ベルの取り付け状態と鳴り具合							
	前照灯の取付状態と機能							
	前後の車軸の締付とガタツキ							
	リムの変形と振れ具合、スポークの変形・張り具合							
	タイヤの取付状態、摩耗、損傷、ヒビ割れ、空気圧							
	ペダルとギアクランクの取付状態と回転具合							
	フリーホイールの回転具合と注油の確認							
	チェーンの張りと摩耗、注油の確認							
	サークルロックの取付状態							
	前後のドロヨケとチェーンケースの取付状態							
	前後リフレクター(反射板)の取付状態と汚れ、損傷							
サドル	サドルの取付状態							
	前後バスケットの取付状態と位置							

電動アシストユニット部	モーターユニット固定ボルトのゆるみ							
	電動アシストユニット各部の取付状態と作動状況							
	電気配線の接続部のゆるみと損傷							
	モーターユニットからのグリス漏れ、異音の有無							
	カバー類固定用ボルトのゆるみ							
	充電コンセントの取り付け具合と損傷							
	バッテリー残量ランプの状態							
	バッテリーの取付状態とロックの動作							
	バッテリーの固定状態							
	バッテリーの消耗具合							

■ 実施年月日	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
■ 実施した販売店ならびに実施者の氏名	(印)						

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

### 修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、お問い合わせください。

ご連絡いただきたい内容：ご住所、ご施設名、ご氏名、電話番号、型式名、販売店、お買い上げ日、故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

補修用性能部品の保有期間：弊社は本商品の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。  
ただし、消耗部品、外装部品は除きます。

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、  
販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

固定電話からはフリーダイヤル

 0120-08-3413

携帯・スマホからはナビダイヤル

 0570-666-996

受付時間：月～金曜日 9時～12時、13時～17時

※土、日、祝祭日、年末、年始、弊社指定の休日等は除く

製造元：フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5

※ 電動アシスト三輪自転車の廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。